

SCOUTING

No.607 スカウティング

2003 / 12

特集：青少年団体ネットワーク

6NV情報：活動の目標を定めよう

Club Scout **SNOW**



SNOW FORT

The snow fort may be built by one Patrol according to the boys' own ideas of fortification, with loopholes for looking out. When finished it will be attacked by hostile Patrols, using snowballs as ammunition. Every Scout struck by a snow ball is counted dead. The attackers should, as a rule, number at least twice the strength of the defenders.

(by 'Scouting for boys')



雪のとりで

見張りのための窓のついた雪のとりでを、班ごとに、班員自身のアイデアで作る。できあがったら、敵の班が雪のたまで攻撃する。雪のたまが当たったスカウトはアウトになる。攻撃軍の数は、普通防衛軍の少なくとも倍にしよう。

(『スカウティング フォア ボーイズ』より)

SCOUTING FOR WINTER



冬の活動では、寒さ対策が最も重要です。服装は動きやすく、汗をかいてもすぐに着替えられるものが良いとされています。汗を吸収した下着は、スカウトたちの体温を奪ってしまうので要注意です。



(スカウトカレンダー2004 12月イラストより)



- 頭部からの熱の発散を軽く見てはいけません。かならず帽子をかぶるということを守るようにしましょう。
- 手袋や靴下は防水性が大切なのももちろんですが、凍傷を防ぐために必ず替えを用意しましょう。
- 雪の中では目立つ色の服を身につけると良いでしょう。

雪の中で思いっきり遊ぶスカウトたち 寒さを楽しむスカウティング 冬のフィールド・白銀の世界を冒険しよう

冬になると雪が降る地方では、寒さの下でも楽しいスカウティングが展開されていることでしょう。スカウトたちは雪遊びが大好きです。雪が積もれば大喜びです。あまり積もらない地方に住んでいると「雪の中でのプログラム」と言ってもピンとこないかもしれませんが、南北に長い日本列島には大きな気候の違いがあり、各団それぞれに工夫を凝らして活動しているのだということを再確認していただければ良いのではないのでしょうか。

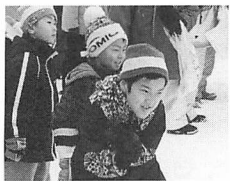
「ウチの方は、雪が降らないから関係ない」と目をそらすのではなく、条件の違う環境での活動の様子を知ること、プログラム開発のアイデアの幅を広げてもらえればと考えます。例えば、雪の中でのゲームの実施事例を捉えて分析するだけでも、その中に「スカウティングらしさ」というべき魅力ある活動と

するための法則・普遍性といったものを見出すことができると思われます。

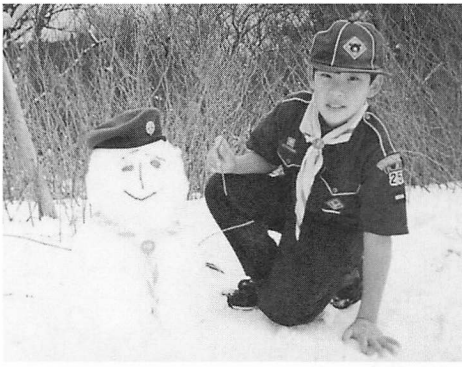
雪と遊び、雪と学び、雪と格闘する。身体を動かし、やわらかさや冷たさを感じ取りながら雪を観察することで、スカウトたちはたくさんの発見をし、成長することでしょう。雪とは縁の薄い地方に住んでいても、いくらかの予算を組み、交通機関を利用すれば、たやすく白銀の世界を訪れることができます。他の季節では味わえない感動、すばらしい風景に出会えることでしょう。ただし、日本の冬は気候も厳しく、スカウトたちの冒険には十分な安全のための準備が必要だということを忘れてはなりません。油断は禁物です。

ビーバー・カブの年代から、雪遊びや積もった雪の上でのゲーム等を通して、寒さを楽しむという感覚を身につけ、ボーイ・ベンチャーと上進するに従って、より本格的なウィンター・キャンピングのスキルレベルをアップしていけば良いでしょう。

冬のフィールド、雪中にテントを設営し、キャンプ生活を送ることができれば、スカウトたちの冒険の幅も広がることでしょう。☑



雪の中での運動会。転んでも痛くない。ビーバーもカブも大喜びです。ソリに乗ってスピード感を味わったり、雪玉を作ったり、工夫を凝らしたゲームで楽しみました。



News

DECEMBER 2003
SCOUTING JAPAN



クラブスカウトが別冊に!

『スカウティング』が現在のA4サイズ、横組の文章スタイルとなって、丸2年が経過しました。その間、スカウト精神を大切に守りながら、様々な企画に挑戦してきました。日本連盟にはたくさんの励ましのおたより、厳しいご意見、中には強烈なご批判もいただきました。遊び感覚を大切にしたいプログラムヒントと広報的効果を目指した「クラブスカウト」の頁は、皆様のご要望を実現する形で

『スカウティング・別冊付録』として、来年4月にさらに内容をアップして再登場することになりました(年2回発行)。また、それに伴い本誌の『スカウティング』の頁立ても来月より少し変わります。

JOTA/JOTI 今年も大成功

10月18日～19日、48時間かけて実施されたアマチュア無線の世界的な行事JOTA、インターネットを利用して通信するJOTIは、たくさんのスカウトが参加し、通信によって

新しい友だちを作り、コミュニケーションを楽しみました。これを機会に通信やエレクトロニクスに興味を持つスカウトたちが増えてくれることが望まれます。

冬のスカウティング・安全第一に

この冬の活動計画の中に、スキーやスケート等のウィンタースポーツを含んでいる隊や団もあるでしょう。雪中キャンプ等を予定しているスカウトもいることでしょう。くれぐれも安全のための準備は忘れずに。

12 SCOUTING JAPAN DECEMBER 2003

1 mon	
2 tue	
3 wed	
4 thu	
5 fri	京都連盟創立(1949)
6 sat	全国組織拡充・広報セミナー(～7日) 県連盟ディレクター研究集会(～7日)
7 sun	
8 mon	
9 tue	
10 wed	
11 thu	
12 fri	
13 sat	第5回6NV実行委員会 第4回ディレクター会議(～14日) 第6回コミッショナーハンドブック改訂タスクチーム(～14日)
14 sun	
15 mon	
16 tue	財務委員会
17 wed	
18 thu	
19 fri	
20 sat	第3回アダルトリソース委員会(～21日) 第3回国際委員会 第3回総務委員会(～21日) 第3回プログラム委員会(～21日) 長野県連盟創立(1948)
21 sun	第5回企画調整会議
22 mon	総務委員会 編集小委員会
23 tue	(天皇誕生日)
24 wed	
25 thu	
26 fri	
27 sat	第20回オーストラリアジャンボリー派遣/準備訓練(～28日) 兵庫連盟創立(1949)
28 sun	第20回オーストラリアジャンボリー派遣/結団式・壮行会
29 mon	第20回オーストラリアジャンボリー派遣/出発(1月17日帰国)
30 tue	
31 wed	



『さ、さむい～!!』

愛知・名古屋第90団C隊 井垣雄介

団のスキー教室。雪の降る山は寒い、寒い、ものすごく寒い。スキー場の風は冷たすぎる。とにかくぼくは、スキー場に来て、滑っていないときというのは、寒くてたまらないと思う。あまりの寒さに、ギャングのようなマスクをかぶってしまった。それにしてもああ～寒い。でもスカウト仲間と一緒にだからとても楽しい。冬になると、スキーの練習が楽しみ。早く上達したいと思う。

CONTENTS

Scouting View	雪のとりで	2
Introduction	寒さを楽しむスカウティング	3
SAJ News	クラブスカウトが別冊に!	4
Essay	『さ、さむい～!!』	5
Explanation	青少年団体ネットワーク	6
Report	ボーイは「お手伝い」で参加	10
Information	6NV情報	12
Report	CQ JAMBOREE・・・交信に感激	14
Club Scout	SNOW	I～VIII
Faith	隊長への手紙 信仰心を育むために	15
Index	『スカウティング』2003 さくいん	16
Report	平成15年度ユースフォーラム開催	18
Library	貸出映像資料	19
Information	お知らせ	20
Letters	読者のページ	24
Shopping	スカウトショップニュース	27

<凡例> **J** = 日本連盟 **P** = プログラム **T** = トレーニング **A** = アダルトリソース
 = 組織拡充 = 大会・行事 = 啓発・読み物 = 国際 = 編集部
 = 読者投稿 = 資料センター = クラブスカウト = その他の注目記事等



可愛いキャラクターが描かれたチラシ。会場となったのはドーム型の札幌市スポーツ交流施設・つどーむ。野球やサッカーの試合が開催できるほどの大きな人工芝のグラウンドでした。6団体のPRコーナーの他に、ステージや緑日コーナーもありました。ラリー形式で実施され、チラシの裏面は、スタンプ押印の用紙として活用されました。

ドーム会場で地域の子どもたちに活動を紹介 青少年団体ネットワーク

地域の中での青少年団体のあり方、団体間の協力、交流の話題が全国各地で聞かれるようになりました。完全学校週5日も定着した感がありますが、週末に子どもたちがどのように過ごせば良いのか、その大きな受け皿とされている青少年団体の活動が今以上に活性化し、より多くの子どもたちに楽しく、かつ教育的価値のあるプログラムを提供できることが期待されています。

自分たちの団を運営するだけでも、大変な労力が必要です。それに加えて地域にもアピールし、主に行政が中心となって催す様々なイベント等にスタッフを派遣しノウハウを提

供するとなると、大きなエネルギーが必要となりますが、各青少年団体において、団体の内側・加盟員に向けてだけでなく、外側にいる一般の人々、地域の子どもたちに向けて情報を発信し、相互にコミュニケーションをとり、また他団体ともネットワークを構築していくという試みが、各地で始まっています。

さっぽろ少年6団体交流事業

地域で活動する青少年団体が活性化を図るため、「連絡協議会」等の名称で定期的に会議を開き、情報を交換したり、交流イベントを企画するといった事例は、全国にたくさんあります。そしてそれは多くの場合、行政の呼びかけによって集まり、事業予算がつけられ、役割を分担してイベントが実施されるというパターンとなっています。

札幌市内で活動している6つの団体。ボーイスカウト、ガールスカウト、子ども会、海洋少年団、鉄道少年団、スポーツ少年団。これらの団体が協力して実施しているイベントが、「友遊KID'Sランド」と名づけられた、年に1度の催しです。今年で第5回を迎えるこの催しには、札幌市内とその近郊からたくさんの子どもたちが集まってきます。



友遊KID'Sランドは「見本市」!?

6団体にとっては活動PRの場であり、勧誘の場でもあるわけです。ある関係者の言葉を借りれば、青少年活動の見本市的な性格を持ったイベントだということです。毎年約6か月の準備期間を使って取り組んでいることですので、各団体とも相当に力を入れていることは事実です。統計をとっているわけではありませんので正確な数字はわかりませんが、チラシを見て催しに参加した子どもたちの中から入団につながるというケースは、少なくないようです。ボーイスカウトとしても、また他の5団体も、入団促進に対する期待は大きいようです。今年はボーイスカウトへの入団の問い合わせが、当日会場だけで30件近くあったそうです。

ネットワークと活動活性化

地域ネットワーク作りと青少年活動に関する調査研究報告によると、青少年団体にとって他団体と連携をとり活動すること、ネットワークを構築し新たな事業に取り組むことには多くの課題が存在し、「成果をあげることには容易ではない」と記されています。しかし青少年団体間で、行政主導によるイベント的な事業実施に際した連携が中心になっていることは先述した通りです。それらは多くの場合、長年に渡って継続され、成果を残しています。札幌の事例も例外ではありません。こうしたネットワーク作りは、地域の子どもたちにとって参加機会の増大となります。青少年団体に加入していない子どもたちにも、イ

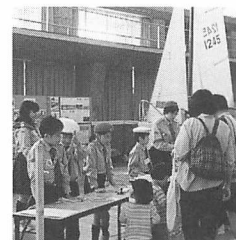


ベントを通して活動にふれるチャンスを与えることになり、地域の活性化という意味でも有効に機能していると評価されます。

札幌ではこれまでに着実な成果をあげてきました。イベントの準備を通して、青少年団体間で情報を共有し、協議することでプログラムの質を高めることができ、子どもたちにより充実したサービスを提供できるということがわかりました(札幌の6団体が各々に何を考え、どんな意見を持っているか文末の囲み記事を参照してください)。同時にこれらの機会は指導者のスキルアップの動機づけにもなり、積極的にかかわった指導者が所属団体へ体験で得た成果を持ち帰ることで、活性化に効果があることがうかがわれました。



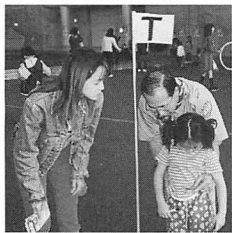
ガールスカウト



海洋少年団

「友遊KID'Sランド」参加6団体PR (配布チラシより)

<p>ボーイスカウト北海道連盟 札幌地区 幼稚園年長さんから大人まで、1,000人の仲間が活動中! ゲーム・ハイキング・キャンプなどみんなで一緒に活動しよう! 女の子も一緒に活動しませんか!</p> <p>体験コーナー スカウト技能に挑戦!! ・ロープ結び「これってなに結び?」 ・磁石を使って旅に出よう!</p>	<p>(社)ガールスカウト 札幌地区協議会 女の子だけだって、力を合わせると何でもできる。キャンプに野外活動にボランティア。初めてのことにチャレンジしてお友だちをどんどん増やそう! 世界中でもガールスカウトが活躍活動しているよ。</p> <p>体験コーナー 迷路をめけると、そこは? 道しるべに挑戦! 知恵と勇気でゴールをめざそう!</p>	<p>(財)札幌市体育協会 札幌市スポーツ少年団 スポーツで活躍してみませんか? サッカー・ミニバス・剣道・テニス・少林寺拳法・空手道・ボウリング等16種類のスポーツ少年団約9,100名が活躍中。リーダー・指導者の海外研修もあります。未来の「ベッカム」「イチロー」「松井」待ちます!!</p> <p>体験コーナー チャレンジ! エンジョイスポーツ サッカーボール、野球ボール等を使った楽しいゲームに挑戦! 体力測定にもチャレンジしよう。</p>
<p>(社)札幌市子ども会育成連合会 みんなで遊ぶとこんなに楽しいんだ! 近所のお兄ちゃん、お姉ちゃんにいろんなことを教えてもらいながら、みんなで思い切り楽しもう!</p> <p>体験コーナー みんなで遊ぼう! みんなで作ろう!! 昔の遊びを体験しよう。 おもちゃも作って遊ぼう!</p>	<p>札幌海洋少年団 「海のような広い心で団結し、すべての人を友とします。体を鍛え心を養い立派な海の子になります。」をスローガンに掲げ、夏はカッター・ヨット・カヌー、冬は水泳・手旗等を通じ楽しく活動しています。</p> <p>体験コーナー ロープワークにチャレンジ! 団員と一緒にになって、ロープワークをおぼえてみよう。きっと役に立つ。</p>	<p>札幌鉄道少年団 鉄道少年団は、特急列車内でのマナーの呼びかけや、駅周辺の清掃活動等を行っています。夏はキャンプ、冬はスキーとイベントもいっぱい! 男の子も、女の子も、みんな集まれ!!</p> <p>体験コーナー 鉄道員(ぼっばや)だよ! 全員集合!! 鉄道型の体験運転Nゲージにチャレンジだ! 鉄道少年団クイズラリーもあるよ。</p>



コンパスを使って方角を知るゲーム。子どもたちの表情も真剣です。

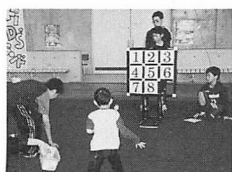
ボーイスカウト札幌地区によると、この日の来場者数は、およそ3,800人。そのうちボーイスカウト活動に興味を持った30人以上の子どもたちに、入団の案内をしました。その子どもたちの中から何人が入団したかは、11月17日現在未確認とのことです。



子ども会



鉄道少年団



スポーツ少年団

札幌では非常に良く機能していましたが、多くの場合、こういったネットワークに積極的に参加し役割を果たそうとする団体と、そうでない団体とが、ハッキリと色分けされていく傾向が見られます。組織の力に差があり、教育に対する考え方の違いもある青少年団体が、ネットワークの中で同列に責任を担うということに無理が出てくるのです。例えば、ボーイスカウト・ガールスカウトの両団体には世界的な運動としての歴史が背景にあり、知名度の高さもあります。野外活動に関するスキル、セレモニーを運営するノウハウ、子どもたちの精神面をサポートする態勢等、他団体に比べ優れた面をたくさん持っています。また、それらが体系的にまとめられていることが両団体の優位性となっています。

交流によって生まれるもの

ボーイスカウト・ガールスカウトと組むことは、他団体にとっては大きなメリットとなるはずですが、我々はネットワークに対して積極的にノウハウを提供し、リーダーシップを発揮することが望まれています。技術・情報・人材の交流を両団体が中心になって進めることで、青少年団体間のネットワークは活性化し、そのことは、両団体の内側にも良い影響を与えるはずですが。

「自分たちの団体だって組織拡充に力を使っているときに、他の団体の面倒まで見てもらえない」という本音も見え隠れしていることは事実です。しかし、組織を守るために内側に向けて結束を強めようとしすぎてよくないイメージで見られ、敬遠されてしまっ

元も子もありません。ボーイスカウト・ガールスカウトの団体のワクにこだわるのではなく、どんどんネットワークを通してそのスキルやノウハウ、運動の明るく快活なイメージを発信し続けることが社会的使命であり、活性化にとって重要であると考えます。

柔軟な姿勢と協調性

今後の課題として、それぞれ考え方の違う教育方針や活動目的を持った団体が、個性や独自の特徴を消すことなく連携していけるかということがあげられます。ネットワークによる結びつき、ネットワークによって事業展開を行うことが、青少年団体の画一化を招いてしまっただけで、存在意義を問われることにもなりかねません。独自性を維持しながらネットワークにも参加するという柔軟な姿勢は、どの青少年団体にも求められます。協調性をなくしてネットワークは成立しません。

「子どもを取り合うことになる」とか、「調整ばかりに時間がかかって実質的なメリットがない」といった声も各地で聞かれます。札幌の場合は、協力関係、団体間の結びつきがしっかりしている成功例と言えるでしょう。

お互いの組織力の違い、社会的な認知度の違い、教育理念、目的の違い等を認め合い、理解し合った上で、存在を尊重し、連携することが大切であると考えます。目先の利害関係でかけひきをするような時代ではありません。共通の意識として、社会的な使命感と人間を育成することへの哲学、生涯学習に対するビジョンを持つ必要があります。

青少年団体同士はこのネットワークにおいて、親睦的な目的だけではなく、指導者層の質的向上を図る勉強会を定期的にもつことも必要となるでしょう。また、互いを理解した上で押しつけ合うのではなく、合理的な役割分担を行い、ネットワークがスムーズに機能するよう働きかけなくてはなりません。



地域に貢献するスカウティング

青少年団体の中でボーイスカウトは、ネットワークにおいても旗振り役、汗かき役を期待されていることは明白です。そのことは同時にこの運動にとって、とりわけ地域で活動

する団の指導者にとっては負担が増大するように思われますが、地域ネットワーク作りのために技術を提供し、人材を派遣することは、ボーイスカウトの組織内に向けても、また一般社会に向けても、最高の広報活動となることを忘れてはなりません。



青少年団体ネットワーク座談会（2003年2月/札幌市内）

今年2月、北海道札幌市内において、市の青少年活動の関係者と、「友遊KID'Sランド」に参加するボーイスカウトを含む6つの団体による座談会が実施され、地域での青少年団体のネットワークのあり方やイベントについて話し合いました。そのときの様子を調査研究報告書より抜粋し、ご紹介します。

◇ 座談会参加団体（順不同）◇

（社）札幌市子ども会育成連合会

札幌海洋少年団

札幌鉄道少年団

札幌市スポーツ少年団

ガールスカウト北海道支部

ボーイスカウト北海道連盟

札幌市保健福祉局児童家庭部少年活動課



■ ネットワークというと、最近はパソコンを通じてつながっているというような感じがあるんですけども、やはり青少年6団体は、パソコンに頼るよりも、もっと人と人とのつながりを大切にしていって、人と人のネットワークを今後も考えていった方がいいと思っています。札幌のこの6団体は、そういう意味で交流も活発ですし、理想的なネットワークと言えるのではないのでしょうか。

■ 自分の団体内のネットワークというか、地区、道、日本、世界というかたちにつながってはいるのですが、他の団体とのネットワークというか、つながりは本当に少ない部分でしか接点がないんです。しかしこれからはもっと視野を広げて、地域に貢献できる団体になりたいと考えています。今後私たちの方から皆さん方をお誘いできるようなプログラム等を開発して、皆さんと一緒に活動ができればいいなあという風に考えています。

■ ネットワークということなのですが、平成10年に、先程も話があった「友遊



KID'Sランド」という事業が行政と青少年団体との交流の場、それから各活動のPRの場ということで始まりました。こういった事業をやったらいいかということ、共同で実行委員会を設けて、市が一部を支援してやっていこうと。平成14年度で4回目ということで実施されていますが、これもひとつのネットワークなのかなと思うんです。

■ 青少年6団体の交流というよりも、どちらかというとPRということを中心に、なるべく我々の団体を知っていただくという活動で今までは展開してきました。1年にたった1日のイベントではあるけれども、いろいろな内容を決めるのに、話し合いは半年くらいかけて行っています。1日でやる事業も大切なんですけれども、その話し合い等を行っている中で、各団体の自然なネットワークが築かれていったんですね。他都市には見られない青少年6団体のまとまりと言いますか、行政も含めて一丸となってプログラムを進行しているという状況が、他の都市に比べると非常にすばらしいと思います。

■ 実際にネットワークしている6団体に関わって、それぞれ役割分担を持ち、かつ会員の子もたちもそのスタッフになって活躍して、自分たちの成果を発表し、また団体のPRもし、一般の子もたちが参加してその団体の良さを理解し、入団するというような結果もありますので、それなりにネットワークという

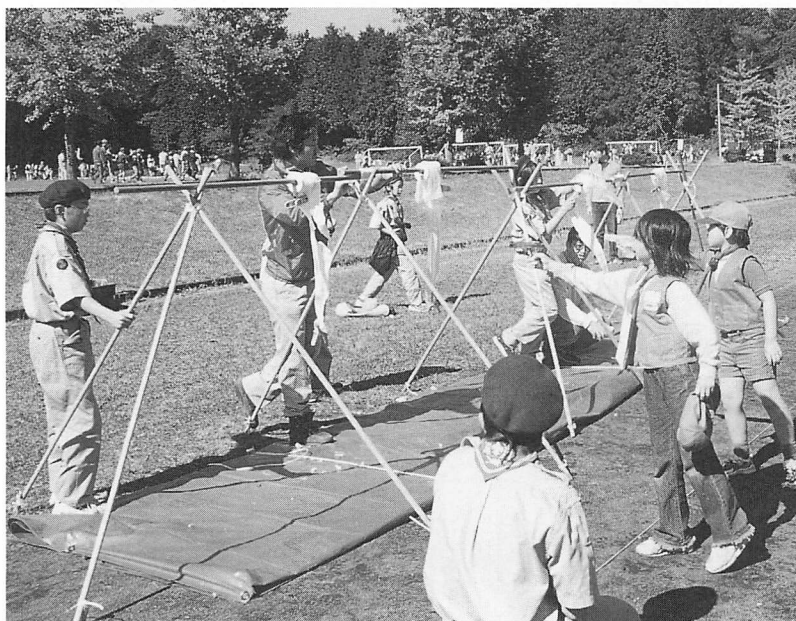
意味で効果は現れているのではないかなという風に思っています。

■ 行政にはバックアップをしていただいているような形で、実際には我々6団体が仕切っているというか、そういうような実行委員会です。4月から始まって、積み重ねていって、企画をしていって、そこで逆に行政の方に確認してもらって開催している形になります。行政の圧力がかかっているということはないので、自由に好きなことをやっているのかなという感じもあると思います。

■ 6団体であっても温度差はあると思うんです。でもお互いにみんなが知り合うこと、ネットワークを作ること、それがちょっと刺激になって活性化していくということも考えられます。「友遊KID'S」の実行委員長は6団体で持ち回りですから、我々が主体になりながらやっていくのだということで、お互いに協力態勢がうまくいくのではないかと思います。今の態勢が一番スムーズに物事がいく、また崩れない要因かなと思います。代表者、実行委員、運営委員という形で人材を送って、大変ではあるけれども、子どもたちもやるのが楽しい。ネットワークのおかげで実際にいろんな人たちに何かできる。普段の活動だと自分たちの中だけでやってしまっていますが、ここに来るといっぱい他の人がいるという。ネットワークによって他の6団体の方にも一般市民の方にも、たくさんふれあえるっていうのが楽しいんです。



▼水鉄砲的なのはトイレットペーパー



▼ペットボトルボーリング



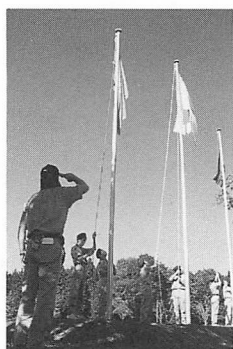
▼サッカー・PKチャレンジ



▼巨大絵合わせゲーム



栃木 カブラリーの伝統的運営法 ボーイは「お手伝い」で参加



青い空に掲揚される国旗、県旗、連盟旗。奉仕のスカウトたちもかなり緊張したようですが、とても美しくあがりました。コンパクトでシンプル、そしてテンポが良いとても気持ちの良いセレモニーでした。

栃木県今市市スポーツセンターは、自然の中に様々な運動施設、レクリエーションのためのスペースが整備されています。スカウトたちがたくさんのプログラムに挑戦する大会の会場としては、申し分ありません。

10月19日に、県のカブラリーがここで開催されました。ラリーへの参加対象は、県内のカブとビーバーたちです。一般的によく見られる県のラリー大会のスタイルです。当日はとても天気良く、気温も上がりましたので、可愛いスカウトたちは楽しく元気に1日を過ごすことができました。

このラリーには、運営面に特徴があります。栃木では、伝統的にこの大会をボーイ年代の

スカウトたちが、「お手伝い」することになっているのです。企画・運営の主体は指導者を中心とした大人たちが行い、しっかりと管理されています。スカウトたちの位置づけは、あくまでも「お手伝い」なのです。

プレッシャーを軽くして

これまで『スカウティング』誌上でも、スカウトが主体的に企画し、運営面の難しい部分だけを大人がサポートする形式の活動について、何度か紹介してきました。その場合、スカウトたちにまかせていてもなかなか進展しないという問題を指摘する声もある中、「それでもスカウトが主役だから…」「自発的に活動することに意味があるから」と、ある意味大人が我慢をし、ハラハラしながら見守っているというような実状はあるようです。

栃木では、そのあたりも意識しているということです。「全部自分たちでやってみる」と言われても、スカウトたちにとっては、嬉し



▲「カブとビーバーに楽しんでもらうために一生懸命働きました。ゲームに参加するのではなく、逆の立場でラリーに参加して勉強になりました」

スカウトたちの声

「お手伝いがんばりました!」

□今市第2団BS 成島春河

開会式では国旗掲揚を担当しました。ものすごく緊張しました。ゲーム進行のお手伝いもしました。スタンプを押す係をやりました。日頃の活動でもデンコーチをやるのがあって楽しいです。お手伝いは好きです。

□今市第2団BS 福田結実

私の役割は、チームで参加するゲームに人数の違いがあったとき、足りない人の代わりに参加することです。

□今市第2団VS 池田圭

ぼくは、ボーイの頃からお手伝いが大好きでした。今日は国旗掲揚を担当してうまくできたので、とても気分が良いです。

□日光第6団BS 橋本明音

巨大な絵をバラバラなブロックにカットして、絵合わせパズルを作りました。絵を描いたのは私です。とても可愛く描けました。準備のときからとても楽しかったです。

□日光第6団BS 湯澤理恵

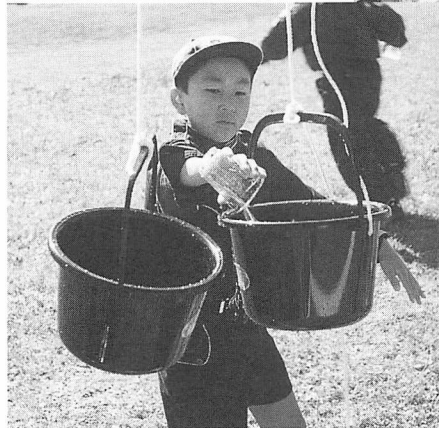
絵を描くのは楽しかったです。ビーバーには、特にわかりやすく丁寧に絵合わせゲームの説明をしました。

□鹿沼第4団BS 柴田有加

カブやビーバーをこちらに呼んで並んでもらい、ゲームの説明をしました。中には言うことを聞かない子もいて困りました。

□鹿沼第1団BS 上澤良介

サッカーPKゲームの点数を数える係をしました。結構楽しかったです。



□鹿沼第4団BS 中澤康博

ルールを説明しても聞いてくれないカブがいた。1人で3回もやっちゃった。注意するのはちょっと難しい。

□宇都宮第12団BS 采女智彦

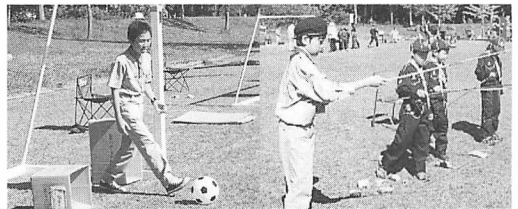
デンコーチとして参加しました。自分の隊のメンバーを並べせたり、次のゲームに連れていったりします。カブだったらどんな風にしてもらいたいか考えながらデンコーチをしています。

□足利第7団BS 新井拓巳

デンコーチです。カブスカウトたちの面倒をしっかり見るように隊長から言われました。

□鹿沼第4団BS 臼井健裕

アーチェリーゲームのところ、弓の使い方を教える係です。矢が飛んでいくので、安全にはくれぐれも注意するように言われています。すごく忙しくて大変だったけれど、カブやビーバーがうまくできて喜んでのを見て、やって良かったと思いました。



□鹿沼第1団BS 松宮直史

缶釣りゲームの針金を取りつける作業をしました。結構準備が大変だったけれど、カブやビーバーが楽しんでいる姿を見てホッとしました。

□栃木第1団BS 国分拓弥・尾花徹

デンコーチとして、ゲームがうまくできるようなカブスカウトたちにアドバイスしています。楽しい?…普通です。

□真岡第1団BS 山口貴也・斉藤優也

木田詠司

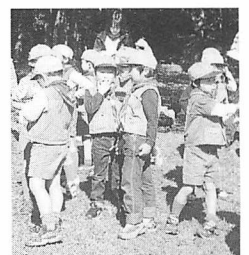
ぼくたち3人は協力して自分の団のカブたちの面倒を見ていますが、世話をするのは大変です。

さ半分、責任の重圧に困った気持ち半分となるようです。まずは「お手伝い」という、気分的にプレッシャーの軽い状態を体験することで、徐々に奉仕の精神や自発活動の基礎を築いていこうという考えです。

「お手伝い」として参加したボーイたちの中には、今年の9月にカブから上進したばかりというスカウトもたくさんいました。

お手伝いで自信がついた!!

ゲームの運営やスタンプ押印のお手伝い、あるいはデンコーチとして、イキイキと弟妹たちの面倒を見るボーイたちは、この大会を通じ、個人差はあるにせよそれぞれに自信をつけた様子です。こうしてスカウトたちは少しずつ成長していくのです。



お兄さん、お姉さんたちの活躍もあり、ラリーは大成功。

6NV情報

Do Venture!! 活動の目標を定めよう

群	No.	活動基地名	プログラム名	内 容
A 群	1	千葉 一宮/南総	太公望とサーフィン	カッター、ボディーボード、弓道、テーピング、座禅 水難救助訓練、船釣り、サーフィン
	2	千葉 手賀沼/小見川	船舶免許とカヌー	手賀沼：湖沼船舶2級免許取得 小見川：カヌー基礎訓練、リバーツーリング、水上スキー、プラネタリウム
	3	千葉 小見川/江戸川 ※2	カヌー、水上スキー、川下り	小見川：カヌー基礎訓練、リバーツーリング、水上スキー、プラネタリウム 流山/湊：eボートによる江戸川下り、簡易救急法、TDL半日観光
	4	神奈川 湘南/横浜 ※2	シーサイドライフと史跡探訪の旅	湘 南：ヨットセーリング、サーフィン、船釣り、調理 横 浜：横浜・鎌倉・江ノ島の史跡探訪プロジェクト
	5	神奈川 三浦/横浜 ※2	シーカヤックと史跡探訪の旅	三 浦：シーカヤック、ショートツーリング、セルフレスキュー 横 浜：横浜・鎌倉・江ノ島の史跡探訪プロジェクト
	6	東京 NYC	A. 水プログラム	カッター訓練、スキューバ、スノーケリング、水生生物観察
	7	東京 山中野営場	E. 自転車とヨット	自転車によるポイントハイク、ヨット講義・実習
	8	東京 山中野営場	G. バックパックとヨット	山中湖周辺のポイントハイク、ヨット講義・実習
B 群	9	茨城 土浦 ※2	A. サイエンスキャンプとビーチウォーク	科学の先進的な研究を専門の研究施設で専門家から学ぶ ビーチウォークについては調整中
	10	茨城 土浦 ※2	B. ルアーフィッシングとサイエンスキャンプ	ルアーフィッシング、近海ジギング、エリアシーバス 科学の先進的な研究を専門の研究施設で専門家から学ぶ
	11	埼玉 長瀬/野外活動センター	カヌー、MTB、ハイキング、OL	カヌースクール、MTB、オリエンテーリング
	12	千葉 手賀沼/江戸川 ※2	船舶免許と江戸川下り	手賀沼：湖沼船舶2級免許取得 流山/浦安：eボートによる江戸川下り、簡易救急法、TDL半日観光
	13	千葉 小見川/印旛沼	カヌー、水上スキー、ハイク	小見川：カヌー基礎訓練、リバーツーリング、水上スキー、プラネタリウム 印旛沼：古代歴史、移動キャンプ、宗吾堂にて佛教修行体験
	14	神奈川 横須賀/小田原 ※1	カッターと森林愛護	横須賀：海上自衛隊教育隊でのカッター訓練、水難救助、艦船研修 小田原：ロングアクセスでの伐採、ウッドクラフト、箱根木工
	15	東京 山中野営場 ※1	A. サバイバルと水上スキー	サバイバル技術の修得と実体験、水上スキー
	16	東京 山中野営場	F. 自転車とカヌー	自転車によるポイントハイク、カヌー講義・実習
17	東京 山中野営場	H. バックパックとカヌー	山中湖周辺のポイントハイク、カヌー講義・実習	
C 群	18	茨城 水戸	A. トレッキングと親鸞の道	風神山、男体山のトレッキング 西念寺を基地に親鸞の定跡を学ぶ
	19	茨城 水戸	E. スカウトと作	林業について、手入れ・製材・木工等について体験 自らの設計による遊具を構材で製作し、地元児童を招待
	20	埼玉 三峰/小鹿野	雲取山登山と牧場体験	雲取山登山、馬事・乗馬体験、林間トレッキング
	21	千葉 手賀沼/八千代	船舶免許と登る走る	手賀沼：湖沼船舶2級免許取得 八千代：室内常設フリークライミング、MTB、成田空港施設見学
	22	千葉 江戸川/八千代 ※2	川下りと登って走って	流山/湊：eボートによる江戸川下り、簡易救急法、TDL半日観光 八千代：室内常設フリークライミング、MTB、成田空港施設見学
	23	千葉 八千代/印旛沼	走って登って、ハイク	八千代：室内常設フリークライミング、MTB、成田空港施設見学 印旛沼：古代歴史、移動キャンプ、宗吾堂にて佛教修行体験
	24	神奈川 逗子/小田原	ウインドサーフィンと森林愛護	逗 子：ウインドサーフィン、環境プログラム 小田原：ロングアクセスでの伐採、ウッドクラフト、箱根木工
	25	東京 山中野営場 ※1	B. サバイバルと野外料理	サバイバル技術の修得と実体験、野外料理
26	東京 山中野営場	C. 釣りバラグラライダー	バラグラライダーの基礎学習、距離フライト、バスフィッシングコンテスト	
27	東京 山中野営場	J. 富士登山と野外料理	1合目からの富士登山、メニュー作りから野外調理	
D 群	28	茨城 水戸	B. 工芸家修行(陶芸)	陶芸について、粘土の知識、造形・焼き等について体験 共同で陶芸作品を制作、笠間周辺の探索
	29	茨城 水戸	C. 工芸家修行(石彫)	石彫についての知識、造形・彫刻等について体験 共同で作品を制作し、公共の場に設置・展示
	30	茨城 水戸	D. リバーツーリングと最終エネルギー追求	那珂川におけるカヌーの基本練習からツーリング体験 火力・水力・風力・核分裂・核融合による各種発電施設の研究
	31	茨城 水戸	F. 美食倶楽部	現職の料理店の調理人からプロの料理を学ぶ 地元協力団体を招いて、作品を振る舞う
	32	千葉 手賀沼/印旛沼	船舶免許と古代印旛	手賀沼：湖沼船舶2級免許取得 印旛沼：古代歴史、移動キャンプ、宗吾堂にて佛教修行体験
	33	東京 NYC	B. Le Patisserie Scout	コーヒー教室、工場・店舗・デパート地下見学、創作菓子制作実習
	34	東京 NYC	C. バイク組立(メンテナンス)	組立・メンテナンスの講義、組立実習とテスト走行
	35	東京 NYC	E. 東京案内プロモーションVTR制作	コンテ制作からロケハン・撮影・編集まで
	36	東京 NYC	F. 自作CD制作	スタジオでの練習、録音・編集し発表会を開催
	37	東京 山中野営場	D. 釣りバラバイオアリング	バスフィッシングコンテスト、ロープ作り、巨大工作物
38	東京 山中野営場	I. 富士登山と木工	1合目からの富士登山、オリジナル木工製作	
E 群	39	栃木	冒険広場が町にやってくる	冒険施設(丸太組、ネット)を作り、 地域の子どもにも提供する 野外炊飯を子どもたちに経験してもらう 1. 佐野 唐沢青年の家 2. 烏山 栃木連盟野営場 3. 宇都宮 みたの森野営場 4. 西那須野 那須野営場
	40	千葉 鶴舞青年の家	上総掘り	上総掘り体験
	41	神奈川 海星丸/横浜 ※2	航海体験と史跡探訪の旅	海星丸：操帆訓練、帆船「海星丸」での生活体験 横 浜：横浜・鎌倉・江ノ島の史跡探訪プロジェクト
	42	山梨 河口湖	河口湖バスフィッシング	フィッシング講演、バス釣りトーナメント 博物館見学、富士山5合目で清掃奉仕・散策
F 群	43	栃木 古河~白河 ※2	おくの細道ロマンの旅inとちぎ	古河~白河の「おくの細道」をたどる 庭先ホームステイ
	44	群馬 相馬が原 ※1		尾瀬研修、農業体験、座禅会、自衛隊体験入隊
	45	千葉 房総	房総アドベンチャーラリー	湖上カヌー、山岳マウンテンバイク、トレッキング、移動ハイク
	46	東京 NYC	D. 起業家養成	実際に会社を設立し企業を疑似体験

NIPPON VENTURE 2004

6NV活動基地一覧

活動基地所在地 ※3	生活	受入人数	プログラム参加費 (円) ※4
県立一の宮キャンプ場 朝川青年の家	野営舎営 自炊給食	120 ★	14,000 釣船、ボート等の借り上げ代
手賀の丘少年自然の家 水郷小見川少年自然の家	舎営	20 ★	50,000 免許取得費用
水郷小見川少年自然の家 流山青年の家	舎営(野営) 給食(自炊)	50 ★	5,000 TDL入場券
湘南船沼野営場 野島青少年育成センター	野営舎営 自炊給食	60 ★	6,000
三浦ふれあいの村 野島青少年育成センター	舎営	60 ★	12,000
国立オリンピック記念青少年総合センター	舎営	60	15,000 施設使用料、機材レンタル費、交通費
山中野営場	野営舎営 自炊給食	30 ★	15,000 レンタル費、資材費
山中野営場	野営舎営 自炊給食	30 ★	12,000 レンタル費、資材費
土浦市青少年の家	野営(舎営) 自炊(給食)	40	無し
土浦市青少年の家	野営	40	8,000 釣り船チャーター代
長瀬カヌースクール 彩の国グリーンビレッジ	野営	80 ★	16,000 カヌースクール2日間
手賀の丘少年自然の家 流山青年の家	舎営(野営) 給食(自炊)	20 ★	55,000 免許取得費用、TDL入場券
水郷小見川少年自然の家 草苗の丘	野営舎営 自炊給食	50 ★	無し
海上自衛隊 横須賀教育隊 塔の庵青少年の家	野営舎営 自炊給食	100 ★	無し
山中野営場	野営舎営 自炊給食	30 ★	15,000 水上スキー参加費、交通費
山中野営場	野営舎営 自炊給食	30 ★	15,000 レンタル費、資材費
山中野営場	野営舎営 自炊給食	30 ★	12,000 レンタル費、資材費
茨城県連盟野営場	野営舎営 自炊給食	40	無し
茨城県連盟野営場	野営舎営 自炊給食	40	無し
三峰山神社宿坊「興雲閣」 クリオ スティーブル	野営舎営 自炊給食	80 ★	10,000 乗馬スクール2日間
手賀の丘少年自然の家 八千代市ガキ大将の森	野営舎営 自炊給食	20 ★	52,000 免許取得費用、MTB借用
流山青年の家 八千代市ガキ大将の森	野営舎営 自炊給食	40 ★	7,000 TDL入場券、MTB借用
八千代市ガキ大将の森 草苗の丘	野営	60 ★	2,000 MTB借用
返子野外活動センター 塔の庵青少年の家	野営舎営 自炊給食	80 ★	10,000
山中野営場	野営舎営 自炊給食	30 ★	10,000 材料代、交通費
山中野営場	野営舎営 自炊給食	30 ★	19,000 パラグライダー参加費、釣り会場費、交通費
山中野営場	野営舎営 自炊給食	30 ★	13,000 山小屋宿泊費、調理実習用食材費
茨城県連盟野営場	野営	20	1,000 陶土代
茨城県連盟野営場	野営	20	1,000 材料代
茨城県連盟野営場 あかざわ山荘	野営舎営 自炊給食	80 ★	5,000 カヌーのレンタル代
茨城県連盟野営場 借楽園ユースホステル	野営舎営 自炊給食	20	1,000 調理実習用食材料費
手賀の丘少年自然の家 草苗の丘	野営舎営 自炊給食	20 ★	50,000 免許取得費用
国立オリンピック記念青少年総合センター	舎営	40	13,000 施設使用料、資材費、調理実習用食材費、交通費
国立オリンピック記念青少年総合センター	舎営	40	20,000 施設使用料、機材費、交通費
国立オリンピック記念青少年総合センター	舎営	40	20,000 VTR制作費、交通費
国立オリンピック記念青少年総合センター	舎営	40	20,000 CD制作費、交通費
山中野営場	野営舎営 自炊給食	30 ★	12,000 釣り会場費、資材費、交通費
山中野営場	野営舎営 自炊給食	30 ★	10,000 山小屋宿泊費、木工材料費、交通費
佐野 唐沢青年の家 烏山 栃木連盟野営場 宇都宮 みだの森野営場 西那須野 那須野営場	野営舎営 自炊給食	160	1,500 ハンモック代
館野青年の家	舎営	50	無し
三ツ沢公園青少年活動センター 野島青少年育成センター	舎営	60 ★	14,000
富士河口湖町勝山	野営	100	8,000 入漁料等
鹿沼野外活動研修施設 なす高原自然の家	舎営(野営) 給食(外食)	50	
陸上自衛隊 相馬が原駐屯地	野営	200	無し
内浦山 泉民の森/君津亀山少年自然の家	野営舎営 自炊給食	128	15,000 カヌー、MTB借用
国立オリンピック記念青少年総合センター	舎営	80	13,000 実習活動費

活動基地ごとに多彩なプログラム

6NVでは、ベンチャースカウト活動の一環として、多彩なプログラムが用意されます。各活動基地では、特性を活かした専門性の高い技能訓練、高度な自然探究、文化活動、地域交流や奉仕等様々な分野へのチャレンジが可能だけでなく、参加スカウトが独自に取り組むプロジェクトにも対応するサポートの体制を整えています。

参加スカウトは、活動チームを単位として参加し、大会期間中は、常に活動チームが行動の最小単位となります。活動チームは、2人または4人で編成します。活動チームを2人編成とするか4人編成とするかは、参加割当人数枠等所属都道府県連盟から示される内容を踏まえて、参加希望スカウトが相互に相談して定めることを原則とします。

参加申し込みの流れ

□参加予定申し込み(希望活動基地申し込み)

- 参加希望スカウトは、活動チームごとに参加予定申込書(スカウト用)に必要事項を記入し、参加予納金1人あたり5,000円を添え、平成16年1月16日(金)までに所属都道府県連盟に申し込みます。
- 都道府県連盟は、参加予定申込書に予納金を添えて平成16年1月31日(土)までに日本連盟に申し込みます。

□活動基地の参加申し込みと決定

- 参加予定申し込みと同時に活動基地参加申し込みを行います。参加希望スカウトは、活動チームごとに希望する活動基地の優先順位を記入して提出します。
- 6NV実行委員会で調整の上、都道府県連盟を通じて平成16年3月31日(水)までに、各活動チームに活動基地の配置結果が知らされます。

□参加確定申し込み

- 活動基地が決まったスカウトは、活動チームごとに参加確定申込書(スカウト用)に必要事項を記入し、参加費30,000円と活動基地のプログラム参加費を添え、平成16年5月16日(日)までに所属都道府県連盟に申し込みます。
- 都道府県連盟は、参加確定申込書に参加費およびプログラム参加費を添えて平成16年5月31日(日)までに日本連盟に申し込みます。

※1 自衛隊関係プログラム内容は調整中です。今後の状況により一部変更することがあります。

※2 この表示がある基地は、プロジェクト展開費用の一部(移動費用・施設入場料等)が、個人負担となります。

※3 活動基地の諸施設へ直接連絡しないよう、お願いいたします。

※4 プログラム参加費については調整中のため、今後変更する場合があります。

★印のあるプログラムは、半数に分かれ、前半と後半で基地またはプログラムを交替します。

CQ JAMBOREE…交信に感激

JOTA/JOTI

世界中のスカウト仲間とアマチュア無線を通じて楽しくコミュニケーションする「ジャンボリー・オン・ジ・エアー（JOTA）」が、10月18日～19日に開催されました。主催は世界スカウト機構で、1958年に初めて開催されてから、今回で第46回という長い歴史のあるイベントです。このJOTA開催の目的は、アマチュア無線に対してスカウトたちが興味や親しみを持って接することによって、活動の視野をひろげてもらいたいということです。電波によってスカウティングの別の魅力をみつけてもらいたいということです。もちろん、無線で日本国内や外国のスカウトたちと言葉を交わし、知識・情報を共有することは、大きな自信につながります。

アマチュア無線の免許があれば

JOTAへは、スカウト関係者であれば誰でも参加することができます。アマチュア無線の免許があれば、決められた周波数を使ってスカウト仲間を呼びだし、交信相手を決めて応答することとなります。



「CQジャンボリー、CQジャンボリー…こちらは…」東京・三鷹のボイスカウト会館においても、JOTAの交信は行われました。無線の免許を取ったばかりのスカウトたちもたくさん訪れました。まだ経験が浅いので、胸がドキドキするばかりでうまく言葉が出ないという場面もありましたが、徐々に落ち着いて応答できるようになりました。

無線で自信ができました

緊張感が小さな無線室に充満していましたが、交信を終えたスカウトたちは、とても満足げな表情を見せていました。「無線で話してみても面白かった」「最初は自分の言葉が伝わらないのではと心配だったけれど、うまく話せて自信がついた」「相手の人に『うまい』とほめられて、嬉しかった」等、交信の体験によって自信を強めたようです。



こちら…
JA1YSS…

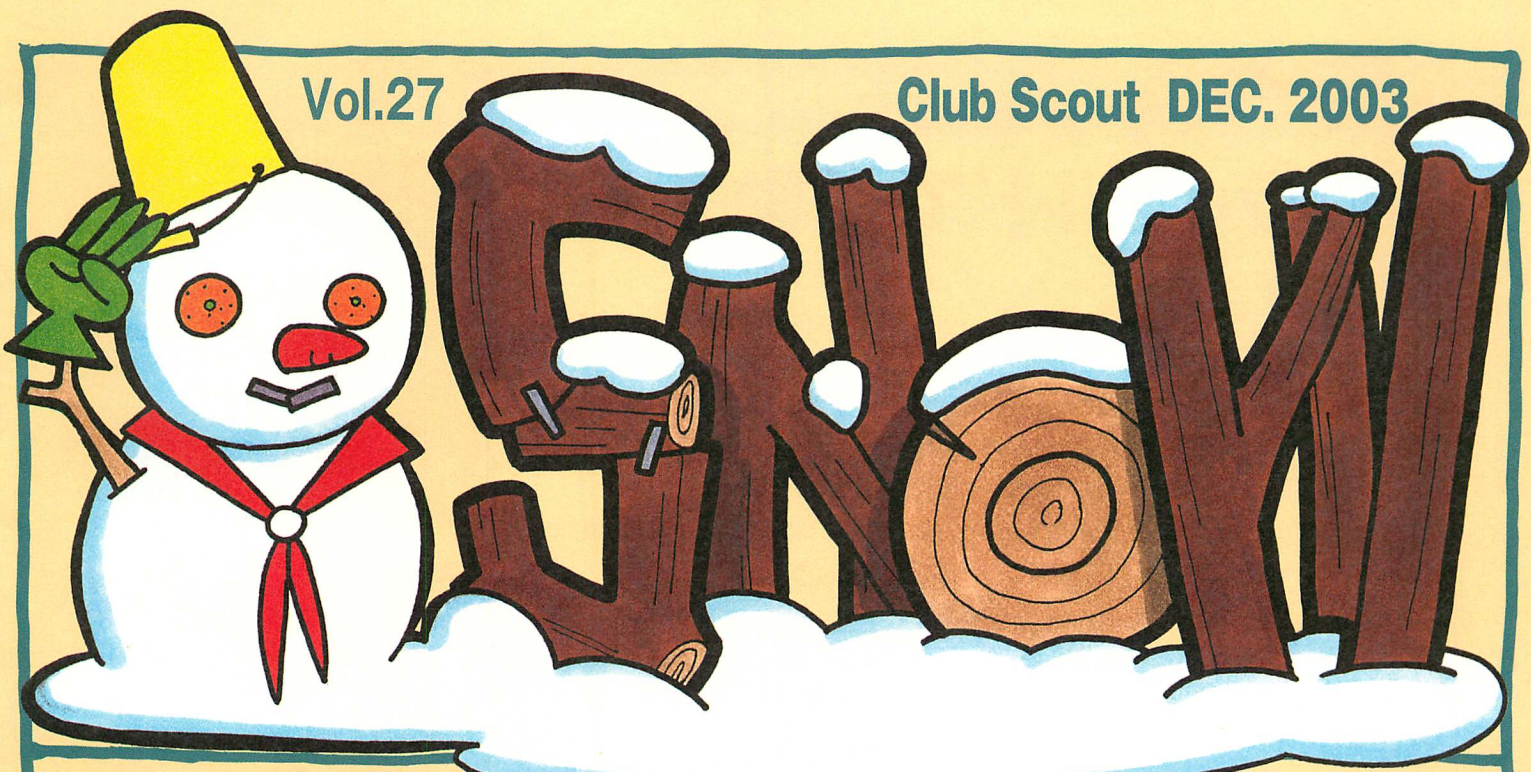


JOTAに参加した局は、日本連盟に交信の記録を提出します。また参加者には、世界スカウト事務局から参加証が発行されます。

JOTI

無線のかわりにインターネットを利用して情報を交換し、友好を深めようというイベントが、「ジャンボリー・オン・ジ・インターネット（JOTI）」です。JOTAと同時に開催されました。パソコンならば免許は不要なので、最近では気軽に参加できるJOTIにも人気が集まっています。今年もたくさんのスカウトが、インターネットでコミュニケーションを楽しみました。





WINTER CAMPING

冬は寒い。といっても日本は広いので、もの凄くたくさん雪が降る地方もあれば、ほとんど降らない場所もある。だから生まれてから一度も本物の雪を見たことがないというスカウトもいれば、冬になると自分の背の高さ

より雪が積もるといった経験をしているスカウトもいる。いろいろあるから楽しいのだ。

白く冷たい雪。フワフワと柔らかい雪。雪の中で遊ぶのはとても楽しい。スキーやスノーボード、ソリ遊びなど、ウィンタースポーツ

に親しむ機会は、スカウト諸君の住む地域の自然環境によって、多い少ないの差はあるだろうが、ぜひ寒さを楽しむという経験をしてもらいたい。雪の中での活動のスキルを身につけることができれば、将来様々な冒険を計画する時に、きっと役に立つことだろう。

最初は、遊びの気持ちで雪を楽しめばよいのだ。スカウト仲間と一緒に、雪だるま作りでも雪合戦でもよい。そして、スキー教室などで正しい技術を学び、ウィンタースポーツに挑戦するのもよいだろう。いずれ雪の中でキャンプできるくらいスキルを身につけるまで、段階的にレベルアップをしたい。

寒さを楽しむレベル

初心者
レベル

ストーブ、かまど、いろりなどがある山小屋や、たき火のできる避難小屋程度の小屋から始める。

基本
レベル

2人用テント、背の高い大きなテントで基礎を学ぶ。

上級
レベル

スノーケープ（雪洞）、イグルー、スノードームなどのシェルターを使う。暖房はせず、シェルターの保温力に頼る。覚悟と準備ができていれば、サバイバル・トレーニングとしてふさわしいものになる。



—— スキー大好き ——

冬になるとスキーを楽しむスカウトたちがたくさんいる。しっかりと練習すれば技術的にも、みるみるうちに上達するよ。



冬のフィールドで活動する

白い雪に囲まれた冬のフィールドでは、テントは寒さや強風から身を守ってくれる場所であり、この中で炊事をはじめ全ての生活を行う。通常の野外活動より条件は厳しい。それだけに設営には手間と時間をかける。

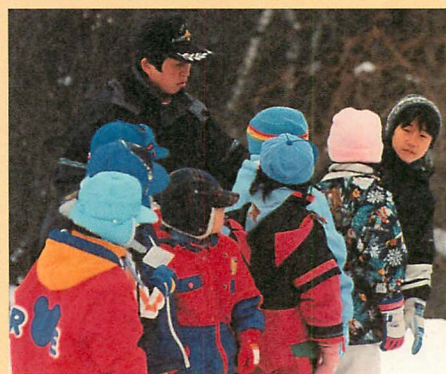
設営にあたっては、雪崩の危険がないことはもちろん、強風が直接あたり、雪の吹き溜まりになるような場所は避けよう。手順は、

1. まずテントを張る場所を、雪がよく締まるまで全員で踏み固め、次に平らになるようにスコップなどを使って念入りにならす。
2. テントの向きを決め、グランドシートとテントの4隅を止める。ただし、冬用のテントは本体とグランドシート一体型が多い。
3. 家型のテントは、いつもと同じように張る。ただし、ペグが凍りついて、撤収の時抜けなくならないようにしよう。

4. ドーム型やカマボコ型では、テントにポールを通し、カマボコ型では、しっかりと雪にポールを突き刺す。さらにメインロープをポールにつなぎ、中間のフレームを内側から張って、フレームが固定できたら順序よく内張を端から張っていく。

5. 風にあおられないように、テントの裾に雪をかぶせ固定する。
6. 入り口には、40cmくらいの深さの穴を掘っておく。
7. テントの周囲に防風用のブロックを積んでおく。
8. 設営終了後も、時々点検する。降った雪を取り除く。
9. 撤収する時は、テント内のできる限りパッキングや身支度をすませ、内張やフレームも外してパッキングしておく。
10. テントをたたむとき、凍っていて小さくたためない場合がある。

「ボーイスカウトフィールドブック」(朝日ソノラマ)より



雪洞

雪洞を作るには、風がなく3mほどの積雪が必要だが、冬山では吹き溜まりにはこれくらいの雪があることが多く、雪崩の危険のない急な斜面があると掘りやすい。作り方は、初めに大きめの入り口を掘り、1人が中に入って雪をかき出す。中が大きくなったら2人入って作業する。天井に凸凹がなくなるまで丁寧に掘り、次に側面に小物や明かりを置く棚を作る。最後に換気口を開け、荷物を中に入れる。雪洞内では喚起に注意し、ストーブなどで温度を上げないよう注意する。

ドーム

人数によって大きさを決めるが、高さは身長を基準とし、最低でも座って食事ができる程度は必要だ。まずスコップで、できるだけ雪を集め、半球型に積み固める。外側から40~50cmくらいの木片を等間隔に数十本突き刺す。気温が低ければそのまま外気に数時間から1日置き、入り口から掘っていく。刺した木片が見えてくるまで内側を広げる。入り口には、風よけの囲いを設けるとよい。

イグルー

イグルーには氷のブロックが必要で、これを作るためにはまず適当な場所の雪を踏み固め、ここから縦50cm、横60cm、厚み15cmほどのブロックをノコギリで切り出す。これを渦巻き状に順次積み重ねていき、3段目からブロックの底を削り、内側に傾けていく。大きさは直径3m以上は難しい。最後に長めのブロックで天井の梁をかけ、天井や側面のすき間を柔らかい雪で埋めていく。入り口は最後に大きめに作る。



—— 風邪をひかないように ——

いくら雪の中の遊びが楽しいからといって、走りまわって汗をびしょりかいて、そのまましていると風邪をひいてしまうぞ。寒さに負けない元気なスカウトも健康第一。自分でしっかり管理しよう。

SNOW ADVENTURE

寒さに対する健康と安全



全身性凍傷 (低体温症、ハイポサミア)

全身性凍傷は、衣服による保温が十分でなかったり、長い間身体を動かさなかったり、冷たい水に漬かってしまったりして、体の中心部の温度が下がり(35℃以下)、体熱のコントロールができなくなってしまう症状だ。症状は震えが止まらない、判断力の低下などで、処置としては胴体部分を40℃くらいの温水でゆっくり温めてやることだ。このほか患者ともども裸になって寝袋の中で抱き合って温めたり、温水洗腸をするなどの方法がある。意識があれば温かい飲み物を与えるといい。

凍死はこの症状が進み、死に至る場合だ。これには極度の疲労や空腹、飲酒、睡眠不足などが引き金になることも多く、初期症状は全身性凍傷と同様で、進むと幻覚や眠気をもよおしてくる。できるだけ患者を温め、眠くなってもしばせないようにする。凍死の予防は体を冷やさないことに尽きる。寒冷地で道に迷ったり、天候が急に変わったら、余裕のあるうちに不時露営(ビバーク)する。安全な場所にテントを張ったり、雪洞などを掘り、できるだけ体を外気にさらさないようにする。

凍傷

凍傷は激しい寒さの中で、手、足、顔、耳、鼻、ほおなどの末端の組織の血行が悪化し、凍ってしまうことだ。痛みを感じ始めたら凍傷の前触れで、進むと何も感じなくなってくる。この時組織は仮死状態になっており、放置しておくとも皮膚は青白くなってきて、終いには黒くなる(壊死)。

予防は痛みを感じたら、すぐ温かい飲み物を飲み、体を温め、患部をよくマッサージし、血行をよくする。急に熱湯やたき火にあぶったりしてはならない。温水を使う場合は、ぬるま湯に浸して徐々に温める。寒さだけでなく、風も皮膚の温度を下げるので、寒冷地ではできるだけ皮膚を露出させない方がよい。また体の血行を妨げるもの、例えば靴下を重ねて履きすぎて窮屈になった靴や、靴ひもを強く締めすぎる、湿った手袋をすることなどはよくない。

一酸化炭素中毒

冬用のカマボコ型のテントや、一般用のドーム型のテントは、グランドシートが本体と一体化しているため気密性が非常に高い。このため換気なしでコンパクト・ストーブなどをテント内で使用すると、一酸化炭素が充満しやすい。一酸化炭素は、炭素を含んだ物質の不完全燃焼で排出される。ストーブをつけたままテントで寝てしまい、死亡した例もある。

テントや雪洞内では、基本的にストーブ類を使用しない。万一使用する場合には、常に換気をして新鮮な外気を入れるようにしよう。またテント類の延焼に注意すること。

雪目

晴れた日など、雪面から反射された紫外線が目に入って起こる障害で、目が激しく痛み、まぶしくて涙が出る。目を休めていれば1日から5~6日で治る。予防にはサングラスなどをかける。

スノーシューで雪山を歩く

森林地帯の雪深い山道を歩くには、足の沈まないワカン(輪カンジキ)やスノーシューが非常に役に立つ。ワカンは日本の豪雪地帯で古くから使われていたもので、弾力性のある材質の木や竹を曲げたもので、そこに2本の木の爪をつけたタイプもある。アルミや合成樹脂製のものもある。ひもやベルトを使ってどんな靴にも装着できる。雪の抵抗をまともに受けるので、歩行中にゆるまないようにしっかりと結ぶ。爪のある型をアイゼンと同時に使う場合は、爪を上側にしてはく。

スノーシューはアラスカやカナダで用いられるワカンと似た雪上歩行具だが、慣れれば歩行だけでなく、走ったり斜面を滑ることもできる。ワカンより大きく、長さや幅、形などに種類が多く、使われた地域や用途による違いもある。かか上がりのタイプが多い。材質は硬質な木材の杵に革ひもを編んだもので、ブーツなどに縛りつけて用いる。プラス

チック製のもの、杵がアルミパイプ製のものもある。

スノーシューには特別な歩き方は必要ない。雪が固くしまっていたら、斜面を滑り降りることもでき、そのような場合はストックも使う。

ワカンで歩く時...

ワカンの歩行は通常の並行な足の動きとは異なる。雪の中に埋まった足を引き上げるには、そのまま上方にまっすぐ抜くのではなく、かかとを外側にひねって、雪をけ散らすようにはねあげる。



B-Pが描いた南極探検隊

SCOUT

ACTIVITIES

2003 12
カブ&ビーバー

WINTER WONDERLAND



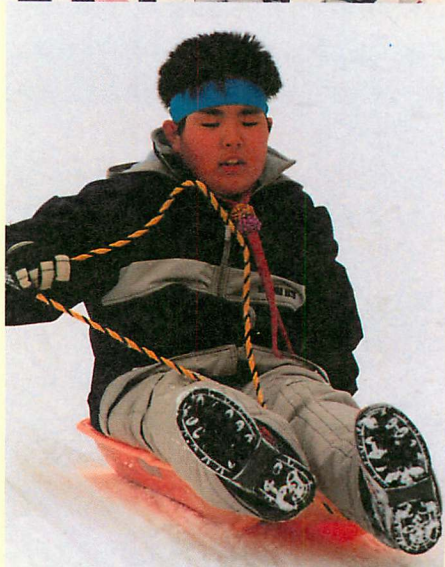
雪の中でも元気いっぱい

スカウトは、白い雪の中でも元気に遊ぶのだ。粉雪がふんわりと積もっていたら、おしりからドシンッと落下し、大きな穴を作ってしまう。からだのスッポリと埋もれてしまってもへっちゃらなのだ。だけど粉雪が珍しいからといってただはしゃぎまわっているばかりではない。ウィンタースポーツに挑戦するのも冬のスカウトたちの楽しみなのだ。

雪山に出かけて、スキー教室を開催する回もある。自己流で滑るよりも基礎からきちんと

と教わった方が、上達もはやい。毎年参加すれば、どんどん自分がうまく滑れるようになっていくことがわかるはずだ。最近ではスノーボードの教室も人気があるようだ。

ビーバースカウトには、まだちょっとスキーやスノーボードは難しいかもしれないが、雪上のゲームやソリで思いっきり遊べばよいのだ。雪が降らない地方に住んでいるスカウトもぜひ機会を作って寒さの中で遊ぶ快感を味わってもらいたいものだ。

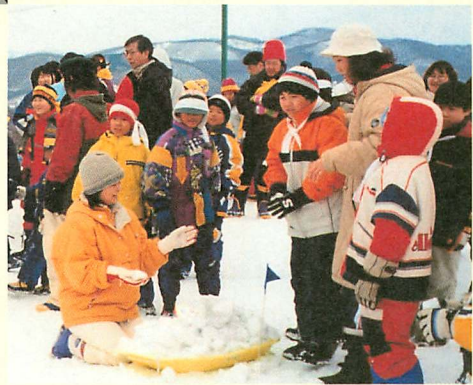




雪の中で遊びながら、雪の感触をおぼえてもらいたい。きみがスカウトとして自然体験の活動を続ける限り、いつか極寒の厳しい条件に挑まなければならない日が来るかもしれない。その日のためにきみは様々な訓練を経験するだろう。今の雪遊びはその第1歩だ。



寒さをあまくみてはいけない。毎年雪の事故で多くの人が命を落としているという現実も忘れてはならない。雪上で楽しくゲームをするにしても、雪山に冒険に出かけるにしても、安全のための対策・準備は絶対に忘れてはならない。楽しみたいなら「そなえよつねに」。



Merry Christmas クリスマス会



12月になるとジングルベルが聞こえてくる。スカウトの集会にも、クリスマス会を取り入れている隊や団は多い。手作りのケーキやスペシャルな料理に挑戦したり、ゲームやクイズ、スタンプを披露したりする。

特別な衣装やメイクを施すこともある。静かに聖なる日を祝うこともあれば、ハチャメチャに盛り上がることもある。自分たちで考え、個性的でもしろいクリスマス会を催するのがスカウト流なのだ。自主的な企画、運営そしてスカウトたちが主役なのだ。

きみたちの団では、どんなクリスマス会を開いたか、ぜひ報告を編集部に送ってほしい。



LITTLE CUB ?

9月に生まれたばかりの赤ちゃん。カブの制服を着せてもらって嬉しそう？ちょっと迷惑そう？どっちにしても可愛いね。



鳩が飛ぶ

平和の祭典。さあセレモニーもクライマックス。カゴを開けると一気に飛び立つ鳩、鳩ハトハトハトハ〜。すごい勢いで羽ばたいて大空へ。鳩は平和のシンボルと言われている。みんなの願いを乗せて、どこまでも飛んでいく鳩。それを見守るスカウトのみなさんもお疲れさま。この日は暑かったようだ。



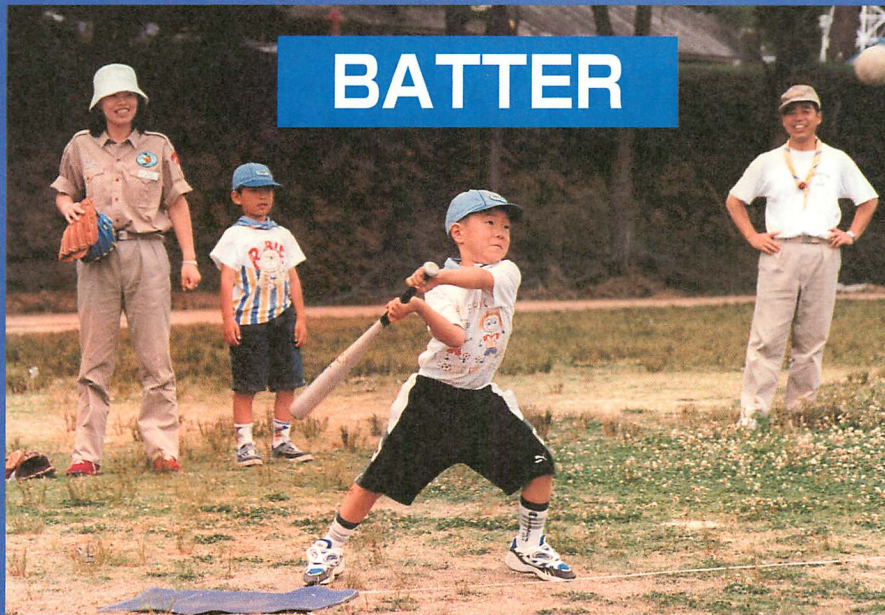
お正月と言えば凧だ
ひと足先に手作り凧。
自信作ぞろいだ!!



街頭募金 ちょっと休憩タイム ドーナツを食べる カブスカウトたち

スカウトは、募金活動に協力することで有名だ。しかも、こう言うっては何だが、いろいろな団体の中で募金集めに関しては、1番貢献しているとのデータもある。休憩タイムもドーナツをかじりながら、募金を訴えているのだ。彼らの活躍もあり、ユニセフ募金は多くの世界の子どもたちを救っている。

BATTER



ビーバーは打つ きっとホームラン

ビーバースカウトはいろいろなスポーツに挑戦する。野球にだって挑戦する。ボールをしっかりと見て、バットを振る。最初から上手にできるわけがない。ヒットを打つのは難しい。でも一生懸命練習すれば、必ず上達する。

スローボールが画面右上に…。ビーバーは打ちにいっている。この角度でスイングすれば、遠くまで飛ばせるだろう。きっとホームランをねらっているに違いない。

自然観察？ 冒険!?



大きないちご

「兄ちゃんがビーバーだった」まだおちびちゃんだった妹と一緒に連れて行ってもらったいちご狩り。「いつか私もビーバーになって、大きないちごを…」その夢が、ついにはかなった。まっ赤ないちごを頬ばり幸せいっぱい妹ビーバーだった。

草原で植物の観察をするはずだった可愛いビーバーたち。斜面に咲く小さな花を探しているうちに、登ったり下ったり、走ったりが楽しくなってしまった。あれっ？当初の目的は、いつの間にか忘れ去られた。遊びの中から冒険心を養うのもビーバー。これでよいのかもしれない。ケガはしないように。



GAME

新聞紙を広げて、まん中に穴を開ける。2人で首を通して頭を出す。さあ勝負だ。お互いに首で新聞紙を引っ張り合うのだが、当然新聞紙は破れやすい。ビリビリとなってしまってポロッと取れてしまった方が負け。力の入れ加減が難しい。つい夢中になってしまう。



6th NIPPON VENTURE KANTO



6th NV 2004

6NVシンボルマーク決定

第6回ベンチャースカウト大会のマークが決定しました。幾何学的な図形にB-Pのイラストを彷彿とさせるペン画のタッチのハクトウワシの描写。特殊な文字デザイン…とシンボルマークとしての仕上げ作業に時間を要することから、来年初めの発表を予定していましたが、『スカウティング』の印刷工程ギリギリで間に合い、年内にご紹介することができました。「勇気・若さ・チャレンジ精神」を表した力強く美しいシンボルマークに心をひとつにして大会の成功を目指しましょう。

(文字デザイン・カラー等修正が入る場合があります)

あした
Do Venture!! 出発だ! すばらしい明日に

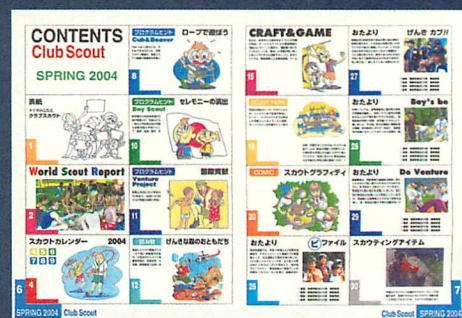
2004年 スカウティングは変わります



- 1 2004年1月号から表紙のデザインが変わります。
- 2 2004年1月号から頁構成を吟味し、全体的にスリムになります。
- 3 楽しい活動のヒントを紹介する「クラブスカウト」の頁は年2回別冊付録としての発行になります。

club scout
別冊付録
年2回発行

春の別冊付録発行に向け準備をすすめています。



バチがあたる

宗教関係代表者会議構成員 猿渡昌盛

数年前に神戸で起きた児童殺人事件や、本年長崎県で起こった中学生による幼児誘拐殺人事件等、世間を震撼させる少年犯罪が多発しております。スカウトたちのあどけない笑顔を見ていると、とても彼らからは想像できない事件です。現代の子どもたちは、人の死をどのように捉えているのでしょうか。

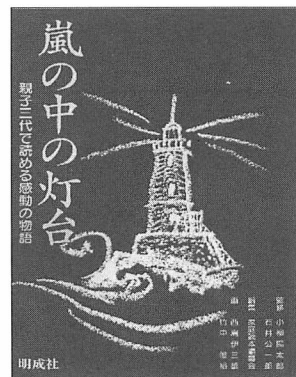
人間は人の死から死への恐怖とともに生きる喜びを学び、人の死から人生の無常とともにすばらしさも体得します。しかし現代社会では、死は日常の中にありません。病死や事故死、老衰であれ、死の瞬間はほとんど病院のベッドの上で迎える今日です。子どもたちにとって死は家の内では起こらない、日常の世界では体験できないテレビゲームやドラマのワンシーンのようなバーチャルの世界なのかもしれません。大切な家族や愛する人が去って逝く悲しみや苦しみは、画面からは決して伝わりません。

亡くなった祖先への感謝と慰霊の祈り、今日家庭に神や仏を祀り、先祖の霊を祀ることができている家庭がどの程度あるでしょうか。昔は、おじいちゃん、おばあちゃんが子や孫に伝え、受け継がれた家庭の儀礼文化でありましたが、近年の住宅事情と厳格懇やかな儀式を嫌う現代人には忘れ去られた文化となってしまいました。三世代での交流や儀礼文化の崩壊とともに、犯罪年齢の低下が顕著になっているのではないのでしょうか。

「バチがあたる」「おてんとうさまが見てらっしゃる」等の言葉はすでに死語になり、閻魔大王や地獄に堕ちる話で子どもを諭すことがなくなりました。しかし、子どもの倫理・道徳教育に「バチがあたる」と教えこませた

先人の知恵を、今一度現代に甦らすべきなのではないでしょうか。もちろん、体罰や暴力を肯定しているわけではありません。やってはいけないこと、守らなければならないことを人と人以上に厳格に神と仏へ誓うことを、戦国武将たちは起請文といたしました。悪いことをすれば、約束を守らなければ「バチがあたる」。神仏の「バチ」を今一度「ちかい」と「おきて」の実践にいかし、より有意義なスカウト活動となることを願ってやみません。

私のおすすめの一冊



『嵐の中の灯台 親子三代で読める感動の物語』

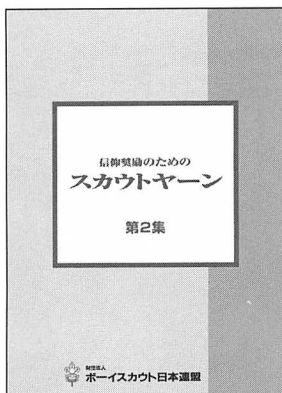
小柳陽太郎・石井公一郎 監修
家庭読本編集会 編 明成社 1,200円(税別)

美しい言葉で語られる、題名の「嵐の中の灯台」をはじめとする感動の物語集である。幼児期にぜひ読み聞かせたい物語が18編収められ、正義と勇気を語り伝えるスカウトヤーンとしても十分ご活用いただける、隊長必読の一冊です。

スカウトたちとやさしいコミュニケーションしていますか？

『信仰奨励のためのスカウトヤーン 第2集』

B6判/60頁 -89394 200円



スカウトの「ちかい」と「おきて」に基づいた価値観の醸成に重きを置くということは、スカウト運動の使命としての世界的な共通認識です。この根幹となるのが、スカウト運動の世界機構規約の原理にある〈神へのつとめ〉、〈他へのつとめ〉、〈自分へのつとめ〉であります。本連盟は、その意味からも加盟員一人ひとりが、それぞれ明確な信仰を持つことを奨励しています。スカウト活動において信仰心の啓発をはかることは、各年代に適した方法で、あらゆるスカウトの活動の中で、何度も何度も機会をとらえて行うことが重要です。まず指導者自らが実践し、スカウト一人ひとりの日常生活において確実に身につくことを期待しております。

鈴木国夫総コミッショナー「はじめに」より抜粋

大好評発売中

スカウティング 2003 さくいん

タイトル月-頁



Introduction

今月の『スカウティング』のテーマ、主要な記事の解説等、導入的な文章の頁です。

2003国際舞台に翔け!	2- 3
教育的な活動を多彩に展開	3- 3
なかまとの遊びに夢中	4- 3
『スカウティング』600号	5- 3
GO! SCOUTING	6- 3
青少年活動を紹介するパネル	7- 3
SCOUTING FOR ALL	8- 3
広く社会にアピール	9- 3
RADIO SCOUTING	10- 3
野外料理はみんな大好き	11- 3
寒さを楽しむスカウティング	12- 3

! SAJ News

日本連盟の動き、行事や催しを中心に、発行前後の話題を写真とともに紹介しています。

20WJ日本派遣団出発	1- 4
第20回世界スカウトジャンボリー	2- 4
楽しい国際交流体験	3- 4
あいことばはWe can!	4- 4
野外活動の季節到来!	5- 4
スカウトには青空がよく似合う	6- 4
活性化するスカウティング	7- 4
活性化のためのネットワーク作り	8- 4
スカウトの存在をアピール	9- 4
カントリー大作戦	10- 4
地域に貢献「スカウトの日」	11- 4
クラブスカウトが別冊に!	12- 4

J 日本連盟

日本連盟が発信する情報、事業計画、報告等、この運動全般に関わる題材を扱います。

年頭のごあいさつ	1- 3
公開討論会 指導者訓練を考える	1-15
新春名刺交換	1-24
指導者養成訓練体系検討特別委員会「中間まとめ」の概要	2-15
野外活動と安全①	3- 6
野外活動と安全②	4-10
平成15年度年間計画表(案)	3-10
弥栄! 富士章受章スカウト顕彰	5- 8
平成15年度事業計画(案)	5-18
速報 平成15年度年次全国会議	6-18

組 織 拡 充

入団促進、中途退団の防止、団運営の問題等、組織拡充に関連した話題を取り上げています。

アウトドアフェスティバル	1-20
学校週5日制に伴う飯山プロジェクト	2-18
期待されるスカウティング	4- 6
スカウト平和の集い	5-16
組織拡充ステップアップ事例発表	7- 6
地域ネットワーク作りと青少年活動	9-16
青少年団体ネットワーク	12- 6



大 会 ・ 行 事

日本連盟・都道府県連盟が主催する大会・行事の計画・報告等の情報提供をしています。

第20回世界ジャンボリー情報	
第20回世界スカウトジャンボリー開幕	1- 6
速報! 20WJ	2- 6
第9回日本アグーナリー情報	1~8月
速報: 第9回日本アグーナリー	9- 8
アグーナリーをふりかえる	10- 8
第6回日本ベンチャー情報	
Do Venture!! 出発だ! ^{あした} すばらしい明日に	11- 8
Do Venture!! 活動の目標を定めよう	12-12
思い出いっぱい 夏のキャンプ	9-10
速報: スカウトの日	10- 6
JOTA/JOTI	
参加情報	10-18
CQ JAMBOREE... 交信に感激	12-14

P プログラム関係

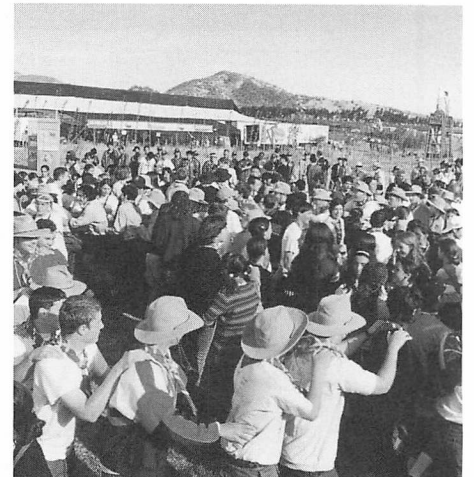
各部門のプログラム開発、進歩についての情報、団・隊での活動紹介等の記事。

クッキングキャンボリー	1-22
よさこいピック高知	1-23
進歩に関する研究集会	2-14
電車でGO!	4-14
東京湾内視察・水上警察艇乗船体験	4-15
ラリーの報告	6- 6
災害準備大作戦	6-16
スキルアップ! 野外活動とスカウト	7-10
ラリーの報告 2	7-12
バンラデシュ派遣報告 PART1	7-18
地域の中のスカウティング	8- 8
指導者向けスキルアップのための集会	8-16
バンラデシュ派遣報告 PART2	8-18
地球環境を考え 地域に貢献する活動を	9- 6
地域の中のスカウティング・他団体支援	10-12
カブ隊名物 小さな冒険旅行	10-14
ダイナミックな野外活動	10-16
"ヒーロー気分"でラリーを楽しむ	11- 6
自然の中のスカウティング	11-12
地球の環境を見守るスカウト・水質調査	11-16
ボーイは「お手伝い」で参加	12-10
平成15年度ユースフォーラム開催	12-18

国際関係

海外での活動、外国スカウトとの交流等、国際関連の話題を取り上げています。

平成15年度国際交流事業(案)	1- 8
国際交流・ホームステイ受け入れ① ブラジル	3-18
国際交流・ホームステイ受け入れ② ブラジル	4-16
国際交流・ホームステイ受け入れ③ イギリス	5-10
世界のスカウト人口	5-15
国際協力ユースフォーラム	9-14



 **読み物**

スカウト・指導者にとって、精神面の充実に役立つ話題・文章を紹介しています。

子どもを取り巻く環境とスカウト運動① ……1-10
 子どもを取り巻く環境とスカウト運動② ……2- 8
 子どもを取り巻く環境とスカウト運動③ ……3-16
 子どもを取り巻く環境とスカウト運動④ ……4-18
 学校週5日制完全実施後の動向 ……9-19
 隊長への手紙 信仰心を育むために
 季節を感じる ……3-15
 ひたむきさが心を動かす ……6-15
 自然界をもっとよく観察しよう ……7-15
 いのち 生命にめざめよう ……8-15
 世界に一つだけの花 ……9-15
 昔の話に学ぶ ……10-15
 自分の心を見る目 ……11-15
 バチがあたる ……12-15



 **Club Scout**

『スカウティング』中央のカラー頁。遊びと雑学、プログラムヒントが満載。

FACE ……1- I～VIII
 BLUE ……2- I～VIII
 DISK ……3- I～VIII
 LEAF ……4- I～VIII
 CALL ……5- I～VIII
 RAIN ……6- I～VIII
 MARS ……7- I～VIII
 ROPE ……8- I～VIII
 FLAG ……9- I～VIII
 WIDE ……10- I～VIII
 FOOD ……11- I～VIII
 SNOW ……12- I～VIII

『スカウティング』の真ん中のカラー頁でご好評をいただいていた「Club Scout」。カラフルな遊びや謎かけ等、様々な仕掛けでお楽しみいただけてまいりました。可愛いイラストやスカウトたちの元気な様子の写真を求める読者の皆様から親しまれた企画でした。実験的な試みも誌上で展開し、スカウト・指導者両者から最も注目された「Club Scout」。来年から年2回・別冊付録で登場することが決定しました。来春の発行へ向けてすでに準備は着々と進んでいます。

 **Essay**

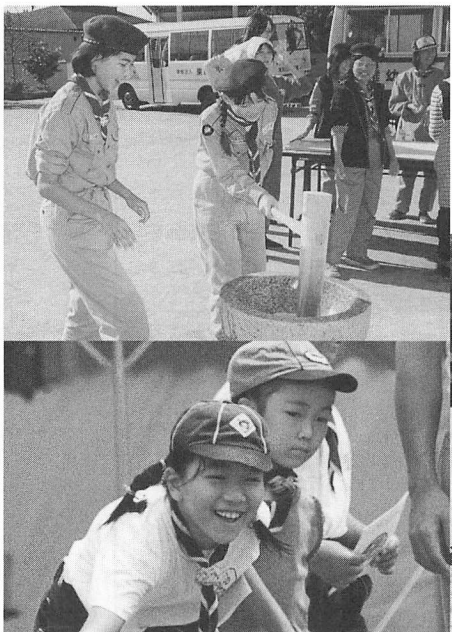
スカウティングの楽しい場面を切り取った、おしゃれなエッセイ。

『ロード・オブ・ザ・リング』 ……1- 5
 『誓い』 ……2- 5
 『4代目スカウト誕生』 ……3- 5
 『富士山が見えた』 ……4- 5
 『つり大会』 ……5- 5
 『我が国の誇り! 7つのアワードを制覇したベンチャー』 ……6- 5
 『お釜は何でも知っている』 ……7- 5
 『これがベンチャーの生きる道』 ……8- 5
 『少年よスキルを磨け』 ……9- 5
 『伊吹山登山』 ……10- 5
 『おいしい笑顔』 ……11- 5
 『さ、さむい〜!!』 ……12- 5

 **その他の記事**

その他スカウト関係者の話題となった記事、関心の高い情報、各種の発表等。


『スカウティング』バックナンバーご案内 ……1-40
 『スカウティング』バックナンバーご案内 ……4-23
 『スカウティング』バックナンバーご案内 ……9-23
 全国大学ローバー連絡先一覧 ……3-14
 第29回ボーイスカウト写真コンテスト PART1…4-①②
 「少年の部」「青年・成人の部」最優秀・優秀作品発表
 第29回ボーイスカウト写真コンテスト PART2…4-③④
 「少年の部」「青年・成人の部」入選作品発表
 甲子園に輝くスカウトの青春 ……5- 6
 新春誌上名刺交換案内 ……10-23
 新春誌上名刺交換案内 ……11-21
 『スカウティング』2003 さくいん ……12-16
 貸出映像資料 ……12-19



Scouting View

『スカウティング』巻頭のカラー頁。今月の編集コンセプトをビジュアルに表現。

Share Our World, Share Our Cultures ……2- 2
 SAWASDEE! ……3- 2
 ビーバースカウト ……4- 2
 カブスカウト ……5- 2
 ボーイスカウト ……6- 2
 +5、-0 ……7- 2
 あいことばは “We can!” ……8- 2
 9.15 スカウトの日 ……9- 2
 JAMBOREE ON THE AIR ……10- 2
 PATROL PRACTICES IN COOKING ……11- 2
 雪のとりで ……12- 2

 **Information**

日本連盟からのおしらせ、都道府県連盟だより等、案内・報告の頁です。

日本連盟からのおしらせ ……1~12月

 **Topics**

『スカウティング』の読者に役立つ情報、スカウト運動内外の話題を取り上げています。

情報コーナー ……1~12月

 **Letters**

読者投稿を中心に、各種活動の報告、運動に関する意見等を掲載しています。

おたより・読者投稿ページ ……1~12月

 **Shopping**

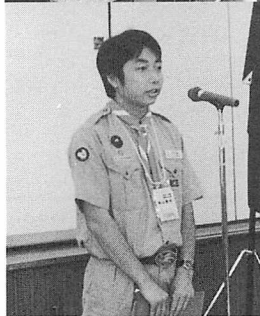
スカウト用品の広告です。新製品や季節の必需品等を中心に紹介しています。

スカウトショップニュース ……1~12月

Making The Impact ～社会に対してできること～

平成15年度ユースフォーラム開催

9月13日(土)～15日(月・祝)、東京・ボーイスカウト会館において、ユースフォーラムが開催されました。参加者は21県連盟から53人。ほかスタッフやアドバイザーを含め総勢70人ほどでの実施となりました。このフォーラムの目的は「全国のユースが集まり、ユースプログラムの理解と実践について議論し、社会貢献に必要な技術、知識を身につけ、実践すること。そのため、下段のような立体的な構成でフォーラムは進みました。



ユースフォーラムの流れ

1日目

仲間づくりの時間、分科会、全体会のほか、「青年の参画・ユースプログラム」をテーマとし、キーワードを理解するためのパネルディスカッションを行った。

2日目

分科会と全体会を進めるほか、「青年参画」「ユースプログラム」に活用できるスキルを体験を通して学べるように、5人の方に講師を依頼し、ワークショップを実施した(各参加者は2テーマを選択し参加)。

□ワークショップのテーマ

- A 「プロセス指向のアクティビティ」
- B 「会議の運営方法」
- C 「プロジェクトマネジメント」
- D 「コミュニケーション技法」
- E 「企画力を鍛える」

3日目

全体会で最後のまとめを行った。各班とも活発な意見が交わされ、アクションプラン作成に至った。今回のフォーラムをいかし、それぞれのフィールドで個々がアクションプランを作成し実行していくことで合意した。

□各班から出されたプランの要約

- 「全国若者情報網」
- 「四万十川とその周辺での環境保全の体験」
- 「ローバー活動の活性化」
- 「VSのモザンビーク派遣」
- 「子どもと一緒にキャンプ」
- 「仲間作り」
- 「6都県+1府でローバーネットワークを作ろう！」
- 「次世代への奉仕」
- 「健常スカウトと障害スカウトとの相互理解」

ユースフォーラム所感

ユースフォーラム運営委員長(日本連盟第5期ローバース会議副議長) 秋山善克

今回のユースフォーラムは、参加者、スタッフ、日程とも前回・2年前のフォーラムを上回る規模で開催することができ、私自身もとても貴重な体験ができました。今回のフォーラムは、成人アドバイザーにアドバイスをいただきながらユースが企画から運営まで行っていました。企画段階はローバース会議が、運営に関しては運営委員会が担当をしました。まさに、ユースのためのユースによるフォーラムでした。その点においては、これまでの日本連盟では行ってこなかったことであり改革的なことだと思います。

フォーラム運営の中で特筆すべきことは、討議を進めるにあたって、私たちが知っておくべきいくつかのキーワードについて共通理解を持つために「パネルディスカッション」を、そして、ユースに必要なスキルを学ぶために講師を招き、5つのグループに分かれて「ワークショップ」を開催したことです。パネルディスカッションでは様々な立場でご活躍のスカウトの諸先輩方およびユースの話聞くことができ、また、ワークショップでは、人と人のコミュニケーション技法や、企画力の鍛え方、会議の進め方等について多く学ぶことができました。これらの経験をもとに、参加者の討議にも段々と熱が入っていました。最終的に9つのアクションプランができましたが、今回のフォーラムの経験を参加者それぞれのフィールドでいかしてもらいたいと思います。

今、ローバース会議はユース委員会設立へ向けて活動をしています。今回のフォーラムでのアクションが、今後のユース活動活性化、認知のためのアクションに成り得ることを期待します。

貸出
映像資料16ミリフィルム
¥2,400ビデオテープ(VHS)
¥1,200

日本連盟では、右の映像資料の貸し出しをしています。説明会や研究会等でぜひご活用ください。詳しくは日本連盟ホームページに紹介されています。

<http://www.scout.or.jp/>

価格にはお届け料が含まれません。返却の際の送料につきましてはご利用者負担でお願いします。

この頁がそのまま貸出申込用紙としてお使いいただけます。ご希望の作品名に☑印をつけ、希望本数の合計を記入してください。

FAX送付先

(財)ボーイスカウト日本連盟
0422-31-5162

郵送の場合
〒181-0015
東京都三鷹市大沢4-11-10
(財)ボーイスカウト日本連盟
映像資料 係

※ご希望の映像資料が貸出中の場合もございます。予約受付・調整等につき連絡いたしますので、電話番号は日中連絡のとりのやすい番号をご記入ください。



			16ミリフィルム	ビデオテープ(VHS)
●ボーイスカウト紹介				
きももなかに!	青少年活動の魅力を解説	'03年/28分	×	<input type="checkbox"/>
バーバパパのボーイスカウト	バーバパパがバーバ、カブの活動を紹介	'93年/20分	×	<input type="checkbox"/>
自然・なかま・未来	ボーイスカウトとは	'93年/15分	×	<input type="checkbox"/>
ボーイスカウト説明会ビデオ	一般の方にBS活動を紹介	'91年/24分	×	<input type="checkbox"/>
まんがはじめて面白塾	BSの歴史をアニメで紹介	'90年/12分	×	<input type="checkbox"/>
翼をひろげた少年たち	自立を目指して交歓訓練に励むスカウト	'89年/27分	×	<input type="checkbox"/>
●大人のスカウティング				
お父さんたちのボーイスカウト	トレーニングコースに入ったお父さん	'93年/27分	×	<input type="checkbox"/>
●アグーナリー				
第9回日本アグーナリー	あいことばは 'We can' (石川)	'03年/30分	×	<input type="checkbox"/>
第8回日本アグーナリー	あいことばは 'We can' (愛媛)	'99年/32分	×	<input type="checkbox"/>
第7回日本アグーナリー	広がる夢 友情の輪 (新潟)	'95年/31分	×	<input type="checkbox"/>
第6回日本アグーナリー	ぼくたちの夏 (東京) マルチスライド方式	'91年/15分	×	<input type="checkbox"/>
第5回日本アグーナリー	のりこえよう大地をふんで (静岡)	'87年/30分	×	<input type="checkbox"/>
第4回日本アグーナリー	つよくたくましく (兵庫・文部省選定)	'83年/30分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●ベンチャー大会				
第5回ベンチャースカウト大会	21世紀へ飛び出せ! 高く広く遠くへ (大分)	'00年/20分	×	<input type="checkbox"/>
第4回シニアースカウト大会	先人の知恵をたずねて (島根)	'96年/30分	×	<input type="checkbox"/>
第3回シニアースカウト大会	はばたこう琵琶湖から (滋賀)	'92年/28分	×	<input type="checkbox"/>
第2回シニアースカウト大会	'88君たちの夏 (静岡)	'88年/30分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
第1回シニアースカウト大会	未知への挑戦 (宮城)	'84年/30分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●日本ジャンボリー				
第13回日本ジャンボリー	新しい時代の風をうけて (大阪)	'02年/45分	×	<input type="checkbox"/>
第12回日本ジャンボリー	夢と感動・森吉の自然を楽しもう (秋田)	'98年/45分	×	<input type="checkbox"/>
第11回日本ジャンボリー	蒼き草原より未来へ (大分)	'94年/45分	×	<input type="checkbox"/>
第10回日本ジャンボリー	友と語り 自然と語る (新潟)	'90年/29分	×	<input type="checkbox"/>
第9回日本ジャンボリー	広くたくましく (宮城)	'86年/30分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
第8回日本ジャンボリー	少年たちの挑戦 (宮城)	'82年/30分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
第7回日本ジャンボリー	希望と躍動 (静岡)	'78年/26分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●世界ジャンボリー				
第17回世界ジャンボリー	世界は一つ (韓国)	'91年/29分	×	<input type="checkbox"/>
第13回世界ジャンボリー	日本で開催された世界ジャンボリー (静岡)	'71年/26分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●その他				
日本連盟創立75周年記念事業	記念事業の活動内容	'97年/25分	×	<input type="checkbox"/>

使用予定日 年 月 日 合計 本 本

申込者	県連盟	団	フリガナ
		役務	氏名
送付先	日中連絡のとれる電話番号	FAX	加盟員ナンバー
	住所 〒	受取人氏名	電話番号

INFORMATION

DECEMBER
2003

日本連盟からのお知らせ

秋の叙勲・褒章受章者(敬称略)

- 藍綬褒章 堀 秀之(東京連盟副連盟長)
 - 旭日双光章 宇野真之(愛知連盟副連盟長)
 - 旭日重光章 井本 勇(前BS佐賀県連盟長)
- ※各県での受章者情報についてもお知らせください。

平成15年度国際活動セミナー(報告)

平成15年度国際活動セミナーが、世界スカウト事務局からジャン・カサニュー事務局次長(世界行事部長)、および第12回世界スカウトムート事務局よりマッシュー・ポーレット登録担当を招き、次のとおり開催されました。

- 期 間 11月1日(土) 12:00～
11月2日(日) 14:00
- 場 所 京都市野外活動施設「花背山の家」
- テー マ 世界における青年のスカウティング
- 参 加 者 18県連盟39人、スタッフ10人
講演者4人 合計53人

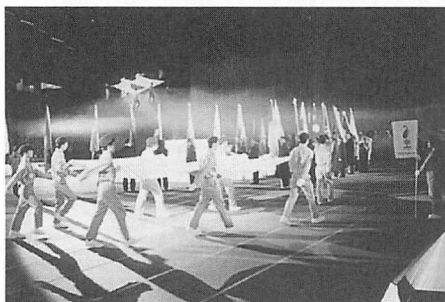
第12回世界スカウトムート・プロモーション(報告)

来年の7月30日から8月10日まで中国(台湾)で開催される、「第12回世界スカウトムート大会」のプロモーションが開催されました。ジャン・カサニュー世界スカウト事務局次長(世界行事部長)、マッシュー・ポーレット第12回世界スカウトムート事務局登録担当より主催者説明、ジョージ・ファン中国(台湾)連盟事務局長、トーマス・リュウ中国(台湾)連盟台中市ローバー指導者より開催国連盟説明がありました。

- 大阪会場 11月2日(日) 14:00～16:00
大阪市立中央青年センター
6県連盟より48人
- 東京会場 11月3日(月) 15:00～17:00
ボーイスカウト会館
8県連盟より47人

都道府県連盟だより

青 森 2003年は第5回アジア冬季競技大会の開催により、スカウトたちは様々な場面で名誉ある奉仕を体験し、関連の投稿も『スカウティング』誌上に取り上げられました。それらは彼らの大きな自信につながると思われまふ。1年後、2年後、奉仕を経験し、学び、成長した彼らが、どのように活動に組み組んでいるか、注目したいものです。



新 潟 『スカウティング』でラリーが紹介されたこともあり、県内外から注目されているようで喜ばしく思います。記事の中ではあまりふれられていませんでしたが、日頃の活動の中での指導者の皆様の献身的な努力と、保護者の皆様のご協力があったからこそ、楽しくにぎやかなラリーが開催できたのです。「初心を忘れることなく地道に頑張ろう!」は、本当に心からのメッセージです。

石 川 9NAでは大変お世話になりました。参加者、奉仕の皆さんから様々な意見・感想がよせられ、『スカウティング』に掲載されています。積極的な議論に展開してこの運動の活性化に役立てましょう。

長 野 12月20日は、長野県連盟の創立記念日です。創立は1948年ですので、55年の歴史を刻んでいることとなります。

栃 木 1949年7月に鹿沼市・千手山公園で行われた栃木県大会の後、栃木の連盟を結成しようという声が県内各所からあがりまふ。続く10月22日、栃木県庁前広場において連盟の結成式が行われました。式に参加したのは14隊280人のスカウトたちでした。

兵 庫 1月になると、「阪神・淡路大震災」のことが思い出されます。決して記憶の中で風化させてはならないものです。スカウティングにおける防災・災害支援のあり方について、万一のときのための備えについて、日頃からよく話し合うことが大切です。

大 阪 阪神タイガースのセ・リーグ優勝で、関西は盛り上がりまふ。甲子園は大フィーバー。その甲子園で開催される春の選抜高校野球で来年も開会式の奉仕をするのは、大阪連盟のスカウトたちです。



京 都 京都連盟が創立されたのは、今から54年前の1949年12月5日です。京都の冬は寒いことで知られていますが、いつの時代もスカウトたちは元気です。

茨 城 来年開催される6NVの活動基地の候補地が、茨城県内にも何か所かあります。いずれも、施設・プログラム内容ともに充実しています。乞うご期待。

愛 知 今月の『スカウティング』の表紙を飾っているのは、愛知のスカウト3姉妹です。兄弟・姉妹揃ってスカウトという家庭が県内にもたくさんあります。男女仲良く参加してこの運動を盛り上げまふ。

岡 山 県ラリーにおいてスカウトたちが挑戦したパイオニアリングが、『スカウティング』8月号にカラーで掲載され、みんな大喜びでした。力作揃いでしたので、他県の皆さんの参考にもなればと思います。またスカウトたちにとっては、写真が載るとということがとても大きな喜びとなるようです。

大 分 ガールスカウトとの合同野営大会の取材記事が載って喜んでまふ。団のレベルでも、『スカウティング』をガールさんに見せながら、楽しく交流してまふ。

広 島 広島市中央公園でカブラリーを実施まふ。広島はこれまで『スカウティング』で取り上げられることが少なかったのですが、今後は積極的に情報提供していければと考えてまふ。

福 岡 ホークスの日本一もあり、福岡は活気にあふれてまふ。来年の6NVに向けて、ベンチャーたちも動き出しています。

沖 縄 次の九州ブロック大会の開催を予定してまふ。何と言っても、沖縄は自然の宝庫です。詳しくはまだこれからになります。が、皆さんお楽しみまふ。

ご支援ありがとうございます

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

*維持会員 (敬称略)

平成15年9月

- 【北海道】石井 博、宮本 哲雄、BS札幌地区委員会、BS旭川18、BS旭川1、BS旭川1務
- 【青森】鶴谷 義昭、柿谷 隆敏、新佐々木 則、黒沢 憲一郎、高瀬 厚太郎、奥崎 一平、高野 修司、葛西 亮宏、大佐藤 のり子、佐々木 和樹、梅村 芳宏、音喜多 平男
- 【岩手】藤田 有伸、上田 中村、奥中村 耕一
- 【宮城】安達 清迪、大松原 健孝、野千代 白田、横澤 善茶、佐竹 藤丸、大鯉 谷正
- 【秋田】下妻 順、土濃塚 作兵衛、糸屋 幸太郎、成田 隆
- 【山形】辻 寧道、間山 道忠
- 【福島】白坂 一夫、石井 久雄、佐久間 崇之、菊池 理夫、星
- 【茨城】刈部 浦吉、【栃木】中村 昭敬、村井 勝一、BS宇都宮 忠雄、松島 忠雄
- 【群馬】荒木 精一、新井 三知夫、桜井 三玉、星谷 光市、長島 敏正、藤木 健武、北宮 隆、坂本 松尾、網中 喜一郎、中村 山崎、高早 安伊、吉原 忠秀、山田 新行、松井 久間、上原 伸川、仲高 橋田、西村 梨、【山梨】広瀬 守光
- 【東京】阪下 朝一、堅山口 佳三、田西村 雅茂、野島 信義、深古 川祐彦、坂松 尾宗明、横山 輝夫、BS三鷹 素木、金児 喬
- 【神奈川】仲高 橋田、西村 梨、【山梨】広瀬 守光
- 【大阪】阪下 朝一、堅山口 佳三、田西村 雅茂、野島 信義、深古 川祐彦、坂松 尾宗明、横山 輝夫、BS三鷹 素木、金児 喬
- 【和歌山】野口 松福、川本 正生、【和歌山】向井 田嶋、柳井 小楠、【大阪】津野 江津、星本 川石、古林 野上、種島 野成、BS大古、山野 斐、野田 武、西野 藤、佐々木 梅田、井澤 清一、山崎 中
- 【岡山】渡辺 督、岩尾 眞理、金光 善照、三宅 隆和、坂土 金今、【広島】猪野 明英、醍醐 善孝、安部 内田、寺南 山、【山口】小島 横吉、【徳島】川真田 啓哲、【香川】簡井 照夫、今田 啓、【愛媛】伊予 銀、竹野 中三、森 内、【高知】立石 永野、【福岡】阿波根 平比
- 【岡山】渡辺 督、岩尾 眞理、金光 善照、三宅 隆和、坂土 金今、【広島】猪野 明英、醍醐 善孝、安部 内田、寺南 山、【山口】小島 横吉、【徳島】川真田 啓哲、【香川】簡井 照夫、今田 啓、【愛媛】伊予 銀、竹野 中三、森 内、【高知】立石 永野、【福岡】阿波根 平比
- 【岡山】渡辺 督、岩尾 眞理、金光 善照、三宅 隆和、坂土 金今、【広島】猪野 明英、醍醐 善孝、安部 内田、寺南 山、【山口】小島 横吉、【徳島】川真田 啓哲、【香川】簡井 照夫、今田 啓、【愛媛】伊予 銀、竹野 中三、森 内、【高知】立石 永野、【福岡】阿波根 平比



- 阿部 道生、岡野 清憲、浦田 健、【佐賀】一ノ瀬 繁夫、【長崎】親和 銀明、高見 英博、溝田 要文、増白 浜、【熊本】平野 升、【大分】吉本 憲、【鹿児島】内藤 宗嘉、【沖縄】仲嶺 真直、阿波根 平比
- 久高 唯興、石島 織維、石島 立印刷、森与謝野 喜朗、伊吹文等、赤坂 昌高、小松尾 貴美子、伊藤 俊茂、坂口 正勝、山田 みよの、金子 章、河野 泰造、高野 隆一、高野 吉治、仲嶺 真直、阿波根 平比

引越された方は、『スカウティング』にも転居届をお出してください

『スカウティング』の定期購読をされていて住所変更された方は、お手数ですが下記に記入して、FAXまたは切り取ってハガキに貼るなどしてご連絡ください。

(フリガナ)	
(氏名)	
(所属)	連盟 第 団 (役務)
(新住所)	<input type="text"/>
(新電話番号)	<input type="text"/>
(登録番号)	<input type="text"/>

お詫びと訂正

『スカウティング』11月号17頁「維持会員」に誤りがありました。お詫びをし、訂正いたします。

誤 大阪 梅田克己
正 愛知・梅田克己

情報コーナー

地球の環境美化に貢献 「スカウトの日」カントリー大作戦 活動の報告大募集

9月15日を中心に全国で展開された「スカウトの日」カントリー大作戦。地域の環境美化のため、スカウトたちの奉仕の精神を養うため、実施された空缶回収の活動。またそれをきっかけとして発展させたユニークなプログラム…。『スカウティング』では、活動のアイデアや関連したエピソード等をお待ちしています。新しいプログラム作りの提言となるようなご意見・アイデアも歓迎します。



スカウティングの場面を切り取る おしゃれな言葉のスケッチ フォトエッセイ募集

目次頁のフォトエッセイのコーナーでは、スカウティングや季節の話題等に関連した、その月にふさわしい意見、アイデア、思い出、感想等と写真を組み合わせて紹介しています。恒例の行事や季節を感じさせる話題を紹介する写真を、300字以内の文章を添えてお送りください。編集部では、今後下記のようなテーマでのエッセイを募集します。スカウトが撮影した写真・文章の応募を歓迎します。

- 雪の中のスカウティング
 - カントリー大作戦
 - 上進セレモニー
 - ラジオスカウティング
 - 野外料理
- 等

ビーバーの活動大募集 元気! 可愛い! 楽しい! 隊集会の様子知らせて!!



ビーバースカウト隊の集会の様子や、地域の行事に参加したときの報告、独自のユニークな活動等を大募集します。自然とふれ合い、友だちと仲良く遊ぶビーバーたち。好奇心いっぱいの彼らの表情を、『スカウティング』でたくさん紹介していきます。掲載されるものは、大きなイベントや特別な活動とは限りません。日常の活動の「ちょっと良かった」「おもしろかった」場面を知らせてください。

ビーバーのプログラム作りや活動の報告を中心としたコーナーを検討中です。一方通行な情報提供ではなく、読者の皆さんと相互のコミュニケーションが図れるような編集企画を実現したいと考えていますので、そういったアイデアも歓迎します。入団案内のための幼稚園・保育園等へのアプローチの方法・工夫、経験された成功例や失敗例等も、できるだけ具体的なかたちでお寄せください。

書き損じハガキ・使用済み切手・ カード類の収集で ボランティア活動支援

上記の品を収集して現金化し、活動資金として、支援している組織があります。切手は、消印も含めて封筒から切り取ったままの状態でお送りください。

- エチオピア緊急支援書き損じハガキキャンペーン
社会福祉法人 基督教児童福祉会
TEL 03-3399-8123
〒167-0041 杉並区善福寺2-17-5
- 書き損じハガキ・使用済み切手
社団法人 日本ユネスコ協会連盟
TEL 03-5424-1121
〒150-0013 渋谷区恵比寿1-3-1
朝日生命恵比寿ビル12階
- 書き損じハガキ・使用済み切手・カード類
財団法人 日本鳥類保護連盟
TEL 03-5378-5691
〒166-0012 杉並区和田3-54-5

国際貢献の第一歩 ハンド・イン・ハンド募金

毎年12月、全国のスカウトたちはユニセフ募金を呼びかけ、大きな成果をあげています。

募金活動については、ただ実施すればよいというものではありません・事前にスカウトたちとよく話し合い、しっかりとした目的意識を持って取り組んでください。また集まった募金がどのように役立てられるのかについても学習し、国際理解・国際貢献のプログラムに発展させてください。

※募金活動をする際は日本ユニセフ協会へ申し込みが必要です。

ハンド・イン・ハンド募金に関するお問い合わせは

財団法人日本ユニセフ協会 協力事業部
〒108-8607
東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス
TEL 03-5789-2012
FAX 03-5789-2032
ホームページ <http://www.unicef.or.jp>

JOTA/JOTIの感想文 自慢のQSLカード紹介等

JOTA/JOTIに参加したスカウトの感想文を募集します。アマチュア無線の世界にふれて感じたこと、考えたことを、自分の言葉で書いてください。今回、無線やインターネットで知り合った友だちのこと、交換したQSLカードについての自慢等、JOTA/JOTIに関することなら内容は問いません。



言葉の壁は乗り越えた!? 笑い涙がいっぱいの 国際交流の思い出

国際的な大会に参加したり、ホームステイを体験したスカウトの皆さん、国際交流の思い出をぜひ聞かせてください。外国スカウトと深めた友情について、身振りや手振りでも話したこと、文化や習慣の違いにとまどったこと等…。苦い体験、楽しい思い出、どんな内容でもOKです。600字程度の文章に、写真を添えてお送りください。これから国際交流への行事等に参加を予定しているスカウトの準備についての作文も歓迎します。

スカウト運動の魅力を写真でみんなに知らせよう!

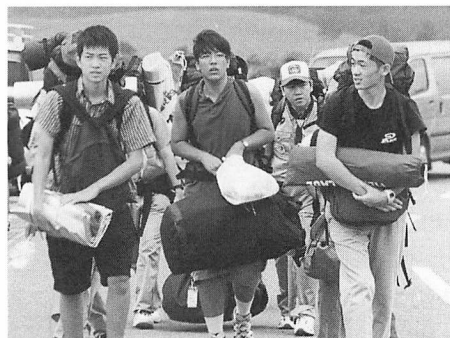


撮影技術や画面演出よりも、素敵な表情・ポーズそのものに注目し、決定的瞬間に被写体にグッと近付いた迫力ある写真をお待ちしています。

シャッターチャンスをおのがすな! 第31回全国ボーイスカウト 写真コンテスト作品募集

今年で第31回を迎える全国ボーイスカウト写真コンテスト。例年多数の応募があり、入賞作品が『スカウティング』の誌上で発表されるのをはじめ、ボーイスカウト日本連盟が発行する様々な印刷物・広報媒体に使用されているのはご存じの通りです。

テーマはずばり「ボーイスカウト」。スカウト運動の魅力を写真で表現し、一般の人々に広く紹介しようというのがコンテストの目的でもあります。撮る側も、撮られる側も、心の底からスカウティングを楽しんでいる…そんな写真を撮影して、ご応募ください。



■テーマ 【ボーイスカウト】

野外活動、奉仕活動、観察、研究発表、セレモニー、国際交流活動、行事…etc.

ボーイスカウトのすばらしさが伝わってくるような、元気なスカウトたちの姿、楽しい活動の様子を捉えた作品を募集します。

(スカウトは、テーマ自由)

■部 門 【少年の部】 中学生以下 【青年・成人の部】 高校生以上

■締 切 2004年2月29日 (当日消印有効)

応募方法 写真の裏に応募用紙を貼って送ってください。

- サ イ ズ サービス判以上四つ切り以下
- 審査委員長 田沼武能氏(写真家)
- 協 賛 株式会社日本カメラ社
- 発 表 月刊『スカウティング』誌上
入選者には直接通知します。

応募上の注意

- ・応募作品は、2003年1月以降に撮影した、コンテスト・印刷物・ホームページ等に未発表のもの。
- ・応募作品はお返しいたしません。
- ・入賞作品は、ネガ(ポジ)フィルム の提出をお願いします。
- ・応募作品は、入賞発表の他に日本連盟の印刷物等に掲載することがあります。
- ・応募作品の使用権は主催者に属します。

第31回 全国ボーイスカウト写真コンテスト

タイトル			
(フリガナ) 名前		年齢	性別 男・女
		歳	部門 少年・青年成人
住所 〒 都・道 府・県 市・区 町・村			
作品についてのコメント			
電話 ()			
スカウトの方は加盟員ナンバー		所属	役務
		第 団 隊	

応募用紙 (コピー可)

- ※点線で切り取って、写真の裏に貼ってお出してください。
- ※応募用紙が写真より大きい場合は、用紙を縮小コピーして貼ってください。

SCOUTING DEC. 2003

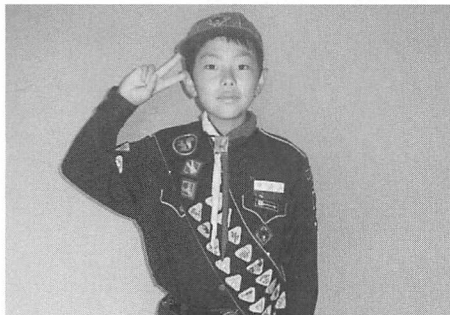
より良いスカウティングを より多くの青少年に!

意見・行事報告・活動紹介…etc.

読者のページ

頑張りは「力」になる

新潟・新発田第1団CS隊 中 勇人



ぼくはお父さんの仕事の都合で、カブ隊を2回転団しました。最初は茨城県のひたちなか第1団でビーバー隊からカブ隊へ上進し、半年たって長野県の松本第4団に転団しました。そして今年、7月に新潟県の新発田第1団に転団し、現在、新発田で頑張っています。

もうすぐボーイ隊に上進しますが、最後にスーパーカブをとることができました。とても嬉しいです。ぼくがスーパーカブになろうと思ったきっかけは、松本とき、1つ上の先輩がスーパーカブになって表彰されているのを見たときです。松本と新発田では上進が半年違い、早くなったのもうだめだと思いましたが、まわりの人に励まされ、最後までやり抜くことができました。

チャレンジ章は、いろいろなことを体験したり、勉強することがたくさんありました。一番興味があったのは、「地質学者」です。よく行く温泉や身近にある山や川等を詳しく知ることができ、勉強になりました。「フィッシャーマン」では、魚拓を初めて作りました。何度もやり直しましたが、きれいに作れました。「気象学者」は、1か月間、天気図を切り抜いたり、温度や湿度測定を毎日やるのを忘れそうになったりして大変でした。

全部終わっての感想は、自分でしっかり計画を立ててチャレンジし、一度やったら終わりではなく、何回もくり返さないといけないと思います。そうしていくうちに自分の力になるのだと思います。

スカウト一家の大きな夢

埼玉・飯能第3団CS隊隊長 澤江万利子

このたび、我が隊のスカウトにチャレンジ章完修カブが誕生しました。

お父さんがカブ隊副長、お母さんがビーバー隊副長、弟がビーバースカウトの、井山朗典くん。くまスカウトになったときから、チャレンジ章完修を目標に頑張ってきました。不得意だった水泳も見事にクリアし、この笑顔です。今度カブ隊に上進する弟・真弥くんにも、良い目標です。兄弟揃ってチャレンジ章完修カブという大きな夢に向かって、スカウト一家ははばたくことでしょう。



ギョーザ作りに挑戦

宇都宮のビーバー

栃木・河内第1団BVS隊隊長 鈴木弘道

わんぱくビーバーは泥こねが大好き。今日は、宇都宮ギョーザ作りに挑戦。まずは具作り。ボールの中の具も泥こねと同じだとばかりに、小さな手でいっぱいこね回し、ほどよく仕上げていました。女兒ビーバーがやさしく手を添え、2人仲良く協力し合っの奮闘に、将来が楽しみ。具を入れて皮で包むのは、ちょっと難しかったかな。でもカッコ良さは二次。結構うまくまとまりました。



いよいよ仕上げ。鉄板を囲んで「お腹すいた」「早く焼ける」「そんなに急ぐな」「焼かれる身にもなって」と、ワイワイガヤガヤ。ハーイできあがり。いただきまーす！フーフー、アッチッチ。何とにもぎやかな集会でした。



子育てフェアに出展

東京・立川第7団

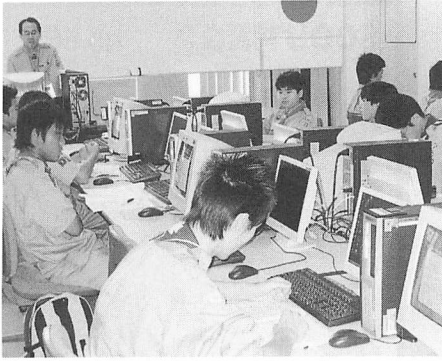
9月13日に立川市曙町で行われた「子育てフェア」(立川周辺の幼稚園児対象)は、好立地で好天に恵まれ、午前10時から午後3時までに集まった保護者および児童は、警察発表で6,000~10,000人とのことでした。

ボーイスカウトのブースでは、マーキー2張りに、展示紹介コーナーとクラフト(割り箸鉄砲作り)コーナーに分けて集客し、延べ500人以上の人が集まりました。



300人分の割り箸鉄砲用の部品を用意していましたが、途中で部品の割り箸がなくなり、急遽買い足しをするほどの盛況でした。また、児童が製作している間、展示紹介コーナーにおいて保護者にボーイスカウト活動の紹介をし、製作が終わった児童には、パンフレットとプレゼント(ビーバーと同じ大きさのネックチーフ・地区の連絡先がプリントされたもの)を配布しました。

今回の子育てフェアは第1回で、特に期待しておりませんでした。予想に反して多くのビーバー年代の児童が集まり、勧誘には良い機会と、次回以降も期待をしております。



技能章取得講習会の開催

東京・板橋地区

8月30日・31日の2日間、板橋地区「コンピュータ章」取得講習会が、日本大学理工学部のご協力をいただき、同学部コンピュータ演習室をお借りして開催されました。充実した設備が十分にあり、1人1台使用し、それぞれにメールアドレスが付与され、インターネットにも自由に接続できる環境でした。

1日目は、コンピュータの歴史から始まり、表計算ソフトを使っの隊集会出席表の作成実習、インターネットの使い方を学習し、2日目には、インターネット検索ソフトを使って用語の学習、ホームページ作成実習、倫理の問題と中身の濃い講習会だったと思います。

今回は板橋地区の他、他の地区のスカウトにも声をかけ、中野地区、練馬地区、墨田地区、北多摩地区からの参加があり、5地区での開催となりました。ただ、夏休みの終わりだったせいか、出席が13人と、非常に少なかったのが残念でした。

来年も企画していきたいと思っています。

ベンチャーエコキャンプ

兵庫・県副コミッショナー 大西康幸

8月20日～23日、飾磨郡家島町西島「県立母と子の島」で県下ベンチャースカウトエコキャンプを開催しました。

ベンチャースカウト29人が、ローバースカウト2人・県ユース委員3人・指導者5人の支援のもと、昨年度の全国スカウトフォーラムのテーマ「世界の仲間と共にーやるぞ、ベンチャー地球を守れー」を合言葉に、兵庫連盟ベンチャーフォーラムのテーマ「県下ベンチャースカウトでエコキャンプをしようよ!」を実践すべく、兵庫連盟ベンチャー会議「VLAC」による企画・計画・実施展開・評価反省の流れを最優先に実施しました。

企画書・計画書の提出に手間取りました

ボーイスカウト日南第2団 自炊やぐみ拾いに汗

日本ボーイスカウト宮崎連盟南地区日南第二団(大家明・団委員長、五十二人)はこのほど、日南市酒谷でキャンプを

行った。子どもから大人まで、例年は四月だったが、までの約四十人が参加。寝食を共にしながら、自炊やぐみ拾いに汗を流した。仲間入りした新名駿太郎君(まじゅん)も同市里

現在、年齢区分の一番低い「ビーバー隊」は新名君だけ。同隊長の原田しのぶさん(しんぶ)は「協調性や自主性を学べるので、もっと参加してほしい」と呼び掛けている。

新聞に活動が紹介されました

[宮崎日日新聞](2003.9.24)



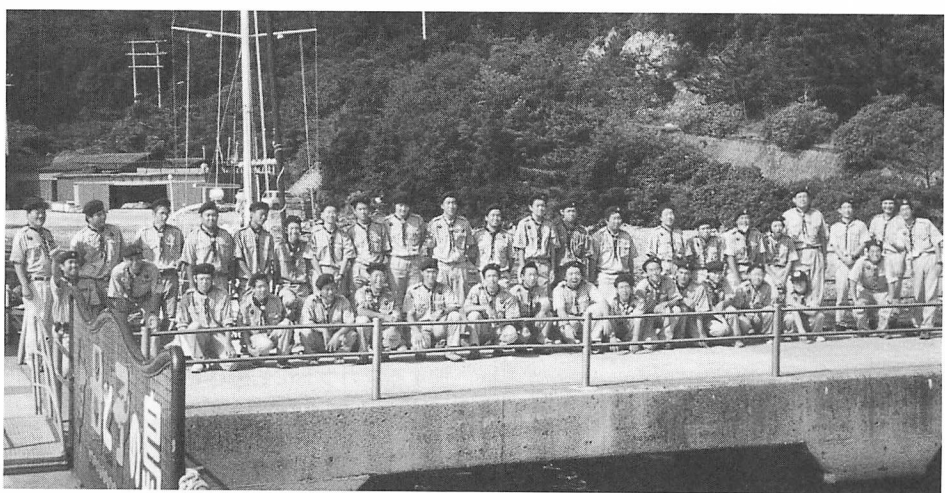
酒谷キャンプ場周辺のごみを拾い集める参加者たち

の入隊式と、学年が上がるとなると所属隊も変わる「上進式」を兼ねた。酒谷キャンプ場周辺では知的障害児施設・つよし学園(同市風田)の十人と一緒にごみ拾い。日本ボーイスカウトが全国で取り組む「カントリー大作戦」の一環で、隊員たちは、ごみ袋を手に空き缶などを拾い集めた。汗を流した後の昼食では、そのめん流しを飲み、隊員たちは学校、学年を超えて友情を深めていた。

日南第二団は幼稚園年長から高校二年生までの生徒と、隊長などを務める成人で構成。年齢別の五隊に分かれ活動している。

地域でのスカウトの活躍を全国に — 新聞記事の切り抜きを送ってください

スカウトの活躍が認められた記事の切り抜きを募集します。記事の切り抜きを「スカウティング」に掲載しあらためて全国の皆さんに見てもらうことは、スカウトたちの励みになります。また自分の地域以外でどんな活動が行われ、社会からどのような評価を受けているかを知ることが、今後のプログラム作りにも役立てられ、組織の活性化にもつながります。どんな小さな記事でも結構です。スカウトの活躍が紹介されていたら、切り抜きを「スカウティング」へ送ってください。



が、ベンチャープロジェクトの本来の姿を体験できたことと自負しています。指導者が直接指導するのはたやすいことですが、支援することの難しさをこの大会で痛感しました。

幸い天候にも恵まれ、スカウトたちは今までの活動を存分に発揮し、大自然の中で生きる力を体験し、ベンチャースカウトの立場と意味を理解し、また、地元の方々とのふれあいの中で環境について話し合い、環境問題に

取り組む難しさを痛感したことと思います。

スカウトたちが、このエコキャンプの体験をいかし、地球環境・地元の環境問題に関心を持ち、将来彼らが社会人となったとき、世の中を変える原動力となるであろうことを実感しました。スカウトたちにとってこの体験が、ベンチャープロジェクトへの布石となるとともに、富士スカウト進級へのステップになるものと期待しています。

国際交流 感動体験



毎日を自分のプラスになるように！ 日韓スカウトフォーラムに参加して

奈良・橿原第9団VS隊 伊藤貴喜

ぼくは、今年の8月6日～16日に韓国の江原道で行われた「日韓スカウトフォーラム」に、日本スカウト代表として参加しました。

韓国には前から興味を持っていて、自分なりに韓国語の勉強をしていました。そして、初めての海外が韓国ということでも楽しみにしていました。しかし、自分の韓国語はやはり未熟だと実感しました。日本以上に韓国にはたくさんの発音が存在していて、少しでも発音が違うとまったく通じません。

ぼくは落ちこむどころか、むしろ韓国語に対して、もっと勉強したいという意欲が出てきました。それからは日本人としゃべるとき以外は、韓国人がしゃべった言葉を後から真

似してしゃべったり、覚えた単語をさっそく使ったりと、毎日を自分のプラスになるように過ごせたと思います。語学ももちろんのこと、国際交流も深めることができました。韓国スカウトはみんな家族のように積極的に話しかけてくれて、人見知りの激しいぼくでも簡単に打ち解けることができました。

このフォーラムに参加して、今まで近いのに遠い存在だった韓国に来ることができて、韓国の良さを肌で感じることができました。そして、もっともっと韓国について勉強したいと思いました。いつかは韓国語と日本語の通訳ができるスカウトとして、これからも開催される日韓・韓日スカウトフォーラムのスタッフとして手伝いたいと思います。そして、ぼくが感じたすばらしさをこれから日韓・韓日スカウトフォーラムやそれ以外の活動に参加するスカウトにも感じてもらいたいです。

2003年9月4日
べんちやー新聞
第2巻

「日韓スカウトフォーラム」に参加したメンバーの笑顔が、この新聞の表紙を飾っています。この新聞は、日韓スカウトフォーラムの模様や参加者の感想などを紹介しています。

トシキョウ秋田県から参加した日韓スカウトフォーラムのメンバーたち。彼らは、このフォーラムを通じて、お互いの文化や生活について学び、交流を深めました。

3度続いた「ベんちやー」の発行。この新聞は、スカウトたちの声や活動の様子を伝える重要な役割を果たしています。



SCOUTING

no.607



財団法人
ボーイスカウト日本連盟

進化する『スカウティング』

読者の声を反映させます

『スカウティング』を読んでくださっている加盟員の皆さんには、それぞれ個性があります。特にスカウト運動に参加し、積極的に活動している方々には強烈な個性の持ち主が多いようで、それもまたこの運動の特徴になっています。

機関誌や広報に対するご意見やご要望も実に様々です。同じ編集記事に、180度違った感想が寄せられることもあります。ある人は写真を増やして文字を大きくした方が読みやすいと言い、別のある人はシンプルなレイアウトに情報が凝縮している感じがカッコ良いと考えるようです。スカウト関係者だけを対象としたコアな情報を期待する人もいれば、一般の人々とこの運動をつなぐ窓口として機関誌を位置づけている人もいます。

すべての人の希望を聞いて、深い考えもなくちよっとずつ取り入れても、バラバラでまとまりのない機関誌になってしまいます。編集責任というしっかりとしたアイデンティティが必要なのです。同時に、柔軟な対応がいつでもできるよう準備しておくことも大切です。そして絶対に忘れてならないのは、みんなこの運動が大好きだということです。もちろん主役はスカウトたち。明るく元気に、そして楽しく活動する様子をたっぷりお届けします。読者の皆さんの声を、必ず誌面で実現すると約束します。『スカウティング』はまだまだ進化します。

スカウティング 2003年12月号

発行所 財団法人ボーイスカウト日本連盟
編集責任者 事務局長 若山裕司
編集企画 総務委員会 編集小委員会

〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
TEL 0422-31-5161
FAX 0422-31-5162
ホームページ <http://www.scout.or.jp/>
E-mail pr@scout.or.jp
表紙モデル 木村祉恵(愛知・名古屋第62団VS隊)
木村参里(愛知・名古屋第62団BS隊)
木村真己(愛知・名古屋第62団BVS隊)

- ◎財団法人ボーイスカウト日本連盟／本誌掲載の写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟 広報グループまでご連絡ください。
- 本誌のバックナンバーを希望される場合は、日本連盟 広報グループまでご注文ください。
- 環境保護のため、『スカウティング』は再生紙を使用しています。

SCOUT SHOP NEWS

スカウトカレンダー
2004 表紙



GIFT 特集

NEW	有田焼一輪挿し	
黒	-74518	¥900

◆サイズ
：天地12.5cm



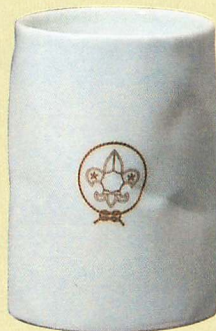
NEW	有田焼タンブラー(小)	
黒	-74502	¥600

◆サイズ
：天地6cm



NEW	有田焼タンブラー・ロング	
白	-74980	¥900

◆サイズ
：天地10.5cm



NEW	有田焼タンブラー・ロング	
黒	-74996	¥900

◆サイズ
：天地10.5cm



NEW	スカウト君 ボールペン	
	-72256	¥300



◆サイズ：15cm



※ボールペン替え芯
-72257 ¥100

NEW	有田焼タンブラー(大)	
黒	-74974	¥800

◆サイズ
：天地8cm



NEW	有田焼タンブラー(大)	
白	-74968	¥800

◆サイズ
：天地8cm



NEW	スカウト君 シャープペンシル	
	-72258	¥300



◆サイズ：15cm



NEW	カラビナキーホルダー	
黒	-71440	¥300

◆サイズ
：全長約12cm



■ご利用にあたってのお願い

- ご注文はBSカード専用の注文書がありますので、ご連絡いただければ送付いたします。
- 日本連盟のインターネットのホームページからダウンロードできます (<http://www.scout.or.jp/>)。
- お支払いにつきましては、ボーイスカウトカード及び代金引換(代引)のみの取り扱いとさせていただきます。
- ファクシミリ [0422-31-5169 スカウト用品専用] でご注文をお受けいたします。
- カードは計画的にご利用ください。
- お求めは県連盟・取扱協力店まで。またボーイスカウトカードをお持ちの方は日本連盟でもお求めいただけます。



※当カードは、オリコ・UC・VISA取扱店や、海外のVISA取扱店でもご利用になれます。

★スカウト用品の表示価格には消費税は含まれておりません。外税として別途申し受けます。
★スカウト用品カタログ2003-2004等の情報はインターネットでもご覧になれます。
URL：<http://www.scout.or.jp/j/info/supply/catalog.html>

より良いスカウティングを より多くの青少年に!



+5-0

全スカウトの胸に友情バッジを 全国が「+5,-0」を実現しよう



財団法人

ボーイスカウト日本連盟

SCOUTING

2003/12

607

昭和33年12月15日 第3種郵便物認可
平成15年12月1日発行 毎月1回1日発行

編集責任者 事務局長 若山裕司
〒181-0015 東京都三鷹市大塚4-11-10
電話 0422(31)5161(代)

郵便振替 00110-1-82610
口座名義 (財)ボーイスカウト日本連盟

4 931187 663251